

令和7年6月10日

令和6年度 社会福祉法人 泰斗福社会 事業報告

I. 法人運営の事業強化

1. 収益の改善

- ・令和6年度決算は、増収減益（前年比）となった。

(1) サービス活動収入

- ・法人全体：1,028,792千円（前年比+25,573千円、+2.6%）
- ・障害部門：500,557千円（前年比+19,006千円、+3.9%）
- ・高齢部門：354,155千円（前年比+7,328千円、+2.1%）
- ・保育部門：174,080千円（前年比▲761千円、▲0.4%）

(2) サービス活動費用

- ・法人全体：991,646千円（前年比+27,665千円、+2.9%）
- ・障害部門：456,091千円（前年比+7,914千円、+1.8%）
- ・高齢部門：340,410千円（前年比+3,935千円、+1.2%）
- ・保育部門：158,355千円（前年比+13,380千円、+9.2%）

(3) サービス活動増減差額

- ・法人全体：37,146千円（前年比▲2,093千円、▲5.3%）
- ・障害部門：44,466千円（前年比+11,092千円、+33.2%）
- ・高齢部門：13,745千円（前年比+3,392千円、+32.8%）
- ・保育部門：15,725千円（前年比▲14,141千円、▲47.3%）

(4) 当期活動増減差額

- ・法人全体：37,445千円（前年比▲3,331千円、▲8.2%）
- ・障害部門：47,738千円（前年比+11,322千円、+31.1%）
- ・高齢部門：11,803千円（前年比+2,869千円、+32.1%）
- ・保育部門：14,693千円（前年比▲15,071千円、▲50.6%）

(5) 総括

- ・サービス活動収入は、障害部門および高齢部門が牽引し、法人全体で前年比+2.6%増加となった。
- ・特に、障害部門は、インフルエンザ蔓延のため、1～2月、通所、短期入所を休止、縮小した中、サービス活動収入が初めて5億円の大台に乗った。
- ・サービス活動費用は、最低賃金が上昇する中、障害部門と高齢部門の増加率は比較的低位で推移。一方、保育部門は、令和6年人事院勧告分として+10.7%増額改定があった等により、大幅に増加。法人全体で前年比+2.9%増加となった。
- ・法人全体で収入の伸びが+2.6%であったのに対し、費用の伸びは+2.9%となり、収入を上回る伸び率となった。
- ・法人全体の当期利益（当期活動増減差額）は、約37百万円となり、増収減益となった。

Ⅱ. 人材確保・人材育成と定着

1. 人事・労務

(1) 新卒採用

- a. 令和7年4月1日付 新卒3名採用（令和6年度採用実績：3名）
 - ・風早の家：介護職1名（北条高校）
 - ・かなさんどう：介護助手1名（河原医療福祉専門学校）
 - ・保育部門：保育士1名（聖カタリナ大学短期大学部）

(2) 中途採用

- a. 令和6年度採用実績：36名（うちミャンマー4名含む）
（令和5年度採用実績：24名（うちミャンマー5名含む））
 - ・ハローワーク（15名）、県社協（2名）及び職員紹介制度（11名）の活用

(3) 人材確保

- a. 各大学・専門学校・高校訪問および実習等の受入
 - ・聖カタリナ大学にて「学内企業説明会」参加（11/20）
 - ・河原学園にて「学内説明会」参加（3/16）
 - ・実習・ボランティア随時受入、見学会開催（8/27, 9/7, 9/21）
- b. メディアの活用
 - ・ホームページ、社内誌「泰斗つうしん」、就職情報サイト（マイナビ、キュービック）等により情報発信に努めた。
- c. ミャンマー技能実習生・特定技能
 - ・令和6年度採用実績：4名（令和5年度採用実績：5名）
 - ・令和6年6月 3名採用
 - 〔 法人7期生：かなさんどう 1名（女性1名）
風早の家 2名（女性2名）〕
 - ・令和6年8月 1名採用
 - 〔 法人8期生：風早の家 1名（女性1名）〕
 - ・令和6年12月末 1名退職（特定技能 かなさんどう 女性1名）
 - ・令和7年3月末、19名（前年比+3名）
 - 〔 特定技能7名（±0名）・技能実習生12名（+3名）
特定技能： かなさんどう 4名（男性1名・女性3名）
風早の家 3名（男性1名・女性2名）
技能実習生：かなさんどう 7名（男性3名・女性4名）
風早の家 5名（男性2名・女性3名）〕
 - ・令和7年6月末 4名退職予定（特定技能1名・技能実習生3名）
 - 〔 特定技能： かなさんどう 1名（女性1名）
技能実習生：かなさんどう 2名（男性1名・女性1名）
風早の家 1名（女性1名）〕
 - ・令和7年6月末予定、15名

(4) 人材育成

a. 資格取得助成金： 7 名（介護福祉士実務者研修：616 千円）

（令和 5 年度実績：6 名（介護福祉士実務者研修：433 千円）

b. 資格試験合格者： 社会福祉士 0 名、精神保健福祉士 1 名、介護福祉士 7 名

（令和 5 年度実績：社会福祉士 1 名、精神保健福祉士 0 名、介護福祉士 7 名）

c. 福祉関係資格取得者数

	かなさんどう	癒しの森	なないろ工房	風早の家	いだい	合計
社会福祉士	5			3		8
精神保健福祉士	1					1
介護福祉士	20	1	3	26	7	57
合計	26	1	3	29	7	66

d. 令和 6 年度ポリテクセンター愛媛によるリーダー研修

・「管理者のための問題解決力向上研修」（7/18）

・「後輩指導力の向上と中堅・ベテラン従業員の役割」（3/19）

・令和 7 年度は、「フォローアップによる組織力の向上」（9/18 予定）

(5) 職員数及び入職・離職状況（詳細は、添付資料 2「令和 6 年度入職/離職者数」参照）

a. 職員数

〔単位：名〕

	R6.3 末	入職	離職	R7.3 末
全体	217	39	32	224
常勤	139	21	20	140
非常勤	78	18	12	84

b. 入職率・離職率

(a) 入職率

〔単位：名・％〕

	R5 年度		R6 年度		前年比	
全体	30	13.8%	39	17.4%	+9	+3.6%
常勤	18	12.9%	21	15.0%	+3	+2.1%
非常勤	12	15.4%	18	21.4%	+6	+6.0%

【参考】介護職全国平均：16.9%

(b) 離職率

〔単位：名・％〕

	R5 年度		R6 年度		前年比	
全体	23	10.6%	32	14.3%	+9	3.7%
常勤	14	10.1%	20	14.3%	+6	4.2%
非常勤	9	9.0%	12	14.3%	+3	5.3%

【参考】介護職全国平均：13.1%

Ⅲ. 新システム導入について

1. 勤怠管理システム導入

- ・ 2 月、客観的な労働時間把握のため、勤怠管理システムを導入（IT 導入補助金を活用）
- ・ 4 月、本格稼働

2. グループウェア NI コラボ 360 の導入検討

- ・ 法人内の情報共有、業務効率化に向けて、グループウェアの導入検討開始

Ⅳ. 防災・減災対策について

■ BCP事業継続計画に基づく訓練実施

- ・ 全事業所にて「シェイクアウト訓練」および「安否確認訓練」を実施（12/17）
- ・ 芭木地区防災講演会に 8 名参加（11/30）

Ⅴ. 中期経営計画の策定について

■ 中期経営計画の進捗

(1) 令和 6 年度 計数目標と実績について

	計画	実績	差異
サービス活動収入	1,051,511	1,028,792	▲22,719
サービス活動費用	992,437	991,646	▲791
サービス活動増減差額	59,074	37,146	▲21,928

(2) 新規事業への参入について

- ・ 令和 8 年 4 月、放課後等デイサービス開業に向けて、準備中
- ・ 事前協議終了（4/10）、9 月迄に新規申請に必要な資料を提出予定
年明けに認可取得し、2 月から開設準備委員会（仮称）立ち上げ予定

Ⅵ. 地域貢献等の公益的な取り組み

■ なないろカフェの活用

- ・ チームオレンジはじめ、各種イベントに開放するなど地域ふれあいの場と
なれるよう努めた。

■ チームオレンジ高輪団地

- ・ 「風早の家」の各事業所からメンバーが参加し毎月開催。チームオレンジの
活動を通じ認知症と向き合うことで、地域のつながりを強固にしていく。

■ 配食サービスの取り組み

- ・ 風早キッチン：地域の方に在宅配食サービスを提供（1 名）

■ 各種委員会活動（添付資料 3 ご参照）

Ⅶ. その他

■ 令和 6 年度 指導監査の結果について

- ・ 令和 6 年度指導監査において指摘事項はありませんでした。

（ 監査対象：社会福祉法人泰斗福祉会、障がい者支援施設かなさんどう、
小規模保育園うちみや保育園、小規模保育園どれみ保育園、
事業所内保育所もりもりキッズ ）

以上

※添付資料1 <理事会及び評議員会等開催状況>

1. 理事会

○〈開催年月日〉 〈理事出席者数〉 〈監事出席者数〉
令和6年6月5日 6名 2名

〈決議事項〉

- 第1号議案 令和5年度 事業報告の承認について
- 第2号議案 令和5年度 計算書類の承認について
- 第3号議案 夏季賞与資金の借入承認について
- 第4号議案 評議員会の日時及び場所並びに議題・議案の決定について

〈報告事項〉

- ② 令和5年度監査報告について
- ②理事長・業務執行理事より職務の執行状況報告

○〈開催年月日〉 〈理事出席者数〉 〈監事出席者数〉
令和6年11月26日 5名 2名

〈決議事項〉

- 第1号議案 令和6年度 事業報告補正予算の承認について
- 第2号議案 冬季賞与資金の借入について
- 第3号議案 就業規則の改定について
- 第4号議案 評議員会の日時及び場所並びに議題・議案の決定について

〈報告事項〉

- ①令和6年度の上半期報告について
- ②理事長・業務執行理事より職務の執行状況報告

○〈開催年月日〉 〈理事出席者数〉 〈監事出席者数〉
令和7年3月7日 5名 1名

〈決議事項〉

- 第1号議案 令和6年度 最終補正予算について
- 第2号議案 令和7年度 収支予算の承認について
- 第3号議案 令和7年度 事業計画の承認について
- 第4号議案 居宅介護支援事業所ウイングの事業休止について
- 第5号議案 定款変更について
- 第6号議案 経理規程の改定について
- 第7号議案 評議員会の日時及び場所並びに議題・議案について

〈報告事項〉

- ①令和6年度 指導監査の結果について
- ②令和6年度 冬季賞与資金 借入金額の変更について

2. 評議員会

○ 〈開催年月日〉 〈出席者〉

令和 6 年 6 月 20 日 5 名

〈議案〉

第 1 号議案 令和 5 年度 計算書類について

〈報告事項〉

- ①令和 5 年度 事業報告について
- ②令和 5 年度 指導監査報告について
- ③夏季賞与資金の借入について
- ④理事長・業務執行理事より職務の執行状況報告

○ 〈開催年月日〉 〈出席者〉

令和 6 年 12 月 13 日 5 名

〈報告事項〉

- ① 令和 6 年度補正予算について
- ② 冬季賞与資金の借入について
- ③ 就業規則の改定について
- ⑤ 令和 6 年度の上半期報告
- ⑥ 理事長・業務執行理事より職務の執行状況報告

○ 〈開催年月日〉 〈出席者〉

令和 7 年 3 月 21 日 7 名

〈報告事項〉

- ①令和 6 年度 最終補正予算について
- ②令和 7 年度 収支予算について
- ③令和 7 年度 事業計画について
- ④居宅介護支援事業所ウイングの事業休止について
- ⑤経理規程の改定について
- ⑥令和 6 年度 指導監査の結果について
- ⑦令和 6 年度 冬季賞与資金 借入金額の変更について

3. 監事監査

○ 〈監査年月日〉 〈監事〉 〈指摘事項〉 〈改善事項〉

令和 7 年 5 月 30 日 2 名 無 無

※添付資料 2 < 令和 6 年度入職/退職者数 >

令和6年度 入職／退職者数

事業所	職種	職員数(R6.3.31現在)			入職		退職		人事異動		職員数(R7.3.31)			増減数		
		常勤	非常勤	合計	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	合計	常勤	非常勤	合計
本部	役員・事務	5	2	7	2		2				5	2	7	0	0	0
かなさんどう	管理者	3	0	3							3	0	3	0	0	0
	事務	3	0	3							3	0	3	0	0	0
	サービス管理責任者	1	0	1							1	0	1	0	0	0
	生活支援員	40	3	43	3		6	1			37	2	39	▲3	▲1	▲4
	看護師	2	8	10				1	1		3	7	10	1	▲1	0
	理学療法士/作業療法士	3	1	4			1				2	1	3	▲1	0	▲1
	管理栄養士	1	0	1							1	0	1	0	0	0
	リネン清掃	0	9	9							0	9	9	0	0	0
	運転手	0	5	5		3		1			0	7	7	0	2	2
	小計	53	26	79	3	3	7	3	1	0	50	26	76	▲3	0	▲3
相談支援事業所	相談支援専門員	2	0	2							2	0	2	0	0	0
癒しの森治療院	生活支援員	2	1	3					1		3	1	4	1	0	1
	運転手	0	1	1							0	1	1	0	0	0
なないろ工房	生活支援員	6	2	8					▲1		5	2	7	▲1	0	▲1
	運転手	0	1	1							0	1	1	0	0	0
特養風早の家	管理者	1	0	1							1	0	1	0	0	0
	事務	3	0	3			1				2	0	2	▲1	0	▲1
	生活相談員	0	0	0	1						1	0	1	1	0	1
	介護支援専門員	1	0	1							1	0	1	0	0	0
	介護職	12	4	16	3	1			0	▲1	15	4	19	3	0	3
	看護師	1	0	1	2		1		▲1		1	0	1	0	0	0
	宿直	0	4	4	1			2			1	2	3	1	▲2	▲1
	管理栄養士	1	0	1							1	0	1	0	0	0
	調理員	3	3	6				1			3	2	5	0	▲1	▲1
	リネン清掃	0	2	2				1			0	1	1	0	▲1	▲1
	小計	22	13	35	7	1	2	4	▲1	▲1	26	9	35			0
ショートステイすばき	介護職	4	1	5	1		1		▲1	1	3	2	5	▲1	1	0
	運転手	0	1	1							0	1	1	0	0	0
デイかしま	介護職	4	2	6	1			1	▲1		4	1	5	0	▲1	▲1
	看護師	1	0	1	1				▲1		1	0	1	0	0	0
	運転手	0	2	2							0	2	2	0	0	0
小規模多機能にじいろ	介護支援専門員	1	0	1							1	0	1	0	0	0
	介護職	4	3	7		1					4	4	8	0	1	1
	看護師	0	0	0					1		1	0	1	1	0	1
	運転手	0	1	1		1					0	2	2	0	1	1
GHLだい	介護支援専門員	1	0	1			1				0	0	0	▲1	0	▲1
	介護職	9	6	15		3	1	3	2		10	6	16	1	0	1
	看護師	0	0	0							0	0	0	0	0	0
居宅ウイング	(主任)介護支援専門員	1	0	1							1	0	1	0	0	0
なないろカフェ	調理員	1	0	1	1	2	2				0	2	2	▲1	2	1
もりもりキッズ	保育士(園長含む)	6	2	8		4	1				5	6	11	▲1	4	3
	管理栄養士(栄養士)	1	0	1	1		1				1	0	1	0	0	0
	調理員	0	2	2							0	2	2	0	0	0
うちみや保育園	保育士	8	2	10	1	1	2				7	3	10	▲1	1	0
	栄養士(管理栄養士)	0	0	0	1						1	0	1	1	0	1
	調理員	0	2	2							0	2	2	0	0	0
どれみ保育園	保育士	7	4	11	1	2					8	6	14	1	2	3
	看護師	0	1	1							0	1	1	0	0	0
	栄養士(管理栄養士)	1	0	1	1			1			2	▲1	1	1	▲1	0
	調理員	0	3	3							0	3	3	0	0	0
合計		139	78	217	21	18	20	12	0	0	140	84	224	1	6	7

入職率		退職率	
常勤	非常勤	常勤	非常勤
15.0%	21.4%	14.3%	14.3%
17.4%		14.3%	

□ 行事・広報委員会 □

〈 実績報告 〉

1. 活動報告

- 「いだいホタル祭り」令和6年6月1日（土）17：00～21：00
場所：伊台松組集会所
内容：いだいホタル祭りの手伝い
- 「福祉施設交流会」令和6年7月23日（火）13：30～15：00
場所：かなさんどう生活介護室
内容：三愛園・泰斗福祉会の利用者とレクや劇など（ゲスト：愛媛プロレス）
- 「栗井公民館夏祭り」令和5年8月3日（土）中止
場所：栗井公民館
内容：公民館祭りに出店出店であったが、猛暑のため中止
- 「はやしみおライブ・愛媛プロレス」令和6年9月14日（土）13：00～14：00
場所：かなさんどう生活介護室
内容：ライブ・リングパフォーマンス（一般開放）
- 「北条地区秋祭り」令和6年10月12日（土）～ 14日（月）
場所：かなさんどう・風早の家
内容：だんじり 12日（土）18：30～19：00
獅子舞 13日（日）14：00～15：00
神輿 14日（月）10：00～10：30
- 「泰斗福祉会 秋祭り」令和6年10月20日（日）11：00～15：00
場所：かなさんどう生活介護室
内容：出店 /利用者・家族向け抽選会/ゲームコーナー（子供対象）
出し物（太鼓・ダンス・ギター弾き語り）
- 「若草福祉まつり」令和6年11月9日（土）・10（日）10：00～15：00
場所：松山市総合福祉センター
内容：なないろカフェ出店（シフォンケーキ・飲み物・雑貨販売）
- 「栗井公民館文化祭」令和6年11月17日（日）9：00～12：00
場所：栗井公民館
内容：公民館祭りに出店（草花）
- 「餅つき」令和6年12月27日（木）13：30～15：00
場所：かなさんどう（正面玄関）
内容：利用者（かなさんどう・風早の家・もりもりキッズ）と餅つきを実施
- 「事業所間交流」令和7年1月17日（金）・24日（金）19：00～21：00
場所：正夢
内容：新年会開催

- 「愛媛マラソン」令和7年2月9日（日）9：30～15：30
場所：かなさんどうバイパス沿い
内容：10円饅頭2,500個を配布。
委員会実施日：4/26・5/14・6/10・7/8・8/5・9/2・10/7・11/5
12/9・1/20・3/10（全11回）
・会議録やアンケートは、法人共有フォルダにて情報共有

2. 今後の課題・問題点及び改善策について

- 行事全体
 - ・シフォンケーキなど物品販売の個数についての検討が必要であった
 - ・秋祭りの一般開放を検討したが、次年度に持ち越し
 - ・事業所間交流の参加人数をもっと増やす必要がある
 - ・古くなっている物品が多く、購入などの検討が必要
 - ・インスタグラムを活用し法人の知名度アップを目指す

3. 決算報告

決算額 983,074 円（前年比：+403,168 円）

支出合計 1,283,374 円（前年比：+468,018 円）

- ・地区秋祭り：85,234 円 ・泰斗福祉会秋祭り：211,979 円
- ・若草祭り：56,521 円 ・餅つき：11,062 円
- ・愛媛マラソン：56,823 円 ・事業所間交流行事：399,755 円
- ・愛媛プロレス路上興行：462,000 円（R7 年度分）

収入合計 300,300 円（前年比：+64,850 円）

- ・法人秋祭り：167,200 円 ・若草祭り：69,100 円
- ・事業所間交流行事：64,000 円

〈 行事内容 〉

6 月	いだいホテル祭り
7 月	福祉施設交流会
9 月	はやしみおライブ・愛媛プロレス
10 月	北条地区秋祭り
	泰斗福祉会秋祭り
11 月	若草福祉まつり
	栗井公民館文化祭
12 月	餅つき
1 月	事業所間交流
2 月	愛媛マラソン

□ 研修委員会 □

〈 実績報告 〉

1. 活動報告

- 新入職員研修：令和6年4月1日（月）～4月5日（金）
- 新入職員歓迎会：令和6年4月5日（金）19：00～
- 法人研修
 - 令和6年8月29日（木）13：30～14：30
「船本万友美氏 アロマセラピー ～簡単セルフケア～」
 - 令和6年11月20日（水）17：30～18：30
「濱田美恵子氏 人生100年時代、腸からできる認知症対策！」
 - 令和7年2月19日（水）17：30～18：30
「田中エリナ氏 モチベーションの持ち方について」
 - 令和6年2月20日（月）17：30～18：30
「砂田真希氏 補助犬との出逢いで障害のある方の人生を変えたい」

委員会実施日：6/5・7/31・9/25・12/11・1/22・2/19・3/12 （全7回）

2. 今後の課題・問題点及び改善策について

- ・予定通り令和6年度の研修は実施できたが、日中に実施するのは職員が参加するのが、難しかった。
- ・様々な分野から講師を招いて職員の心と身体のケアになる研修が開催できるとよい。
- ・各事業所において、管理者や職員が抱えている課題やニーズなどを聞き取りし、それに対応できる、あるいは解決につながるヒントとなる研修を開催するように努める。

3. 決算報告

法人研修講師費用 年間合計 352,000 円（前年比：▲82,000 円）

- ・新入職員研修：110,000 円
- ・新入職員歓迎会：144,000 円
- ・船本万友美氏 ： 5,000 円
- ・濱田美恵子氏 ： 5,000 円
- ・田中エリナ氏 ： 88,000 円
- ・砂田真季氏 ： 0 円

以上

令和 7 年 6 月 10 日

令和 6 年度 社会福祉法人 泰斗福祉会
障害者支援施設 かなさんどう 事業報告書

1. 施設概要

- (1) 所在地 松山市苞木甲 202 番地 1
- (2) 施設種別・事業（定員） 障害者支援施設
施設入所 40 名・生活介護 50 名・機能訓練 10 名
短期入所 4 名・日中一時 4 名
相談支援事業（定員制限なし）
- (3) 事業開始年月日 平成 20 年 4 月 15 日（障害者支援施設かなさんどう）
平成 21 年 4 月 1 日（相談支援事業）

2. 令和 6 年度実績報告

【取組内容】

		R5年度	R6年度
総延べ利用人数		34,063人	33,731人
入 所	1日平均利用者数	39.6人	40.5人
	稼働率	99.1%	101.2%
	介護給付費・訓練等給付費請求額	¥256,351,470	¥268,974,710
通 所	1日平均利用者数	21.0人	19.6人
	稼働率	104.8%	97.9%
	介護給付費・訓練等給付費請求額	¥96,157,840	¥92,659,030
短期入所	1日平均利用者数	6.1人	5.2人
	稼働率	153.4%	129.7%
	介護給付費・訓練等給付費請求額	¥27,290,890	¥24,963,270
介護給付費・訓練等給付費請求額		¥379,800,200	¥386,597,010

① 収益の改善

上半期は報酬改定で下がってしまった本体報酬を少しでも UP できるよう体制整備した。

下半期はインフルエンザ蔓延による通所、短期入所休止や縮小で約 450 万の減収となった。

□入所：入所支援 101.2% 前年度 99.1% 目標 100% 達成

前年度入院が多かった為、安定した収入目指し 42 床を目標

年度初めは入所者 41 名、4 月に機能訓練 1 名入所、5 月に機能訓練終了にて 1 名退所、生活介護 1 名入所。6 月に医療的ケア増大のため 1 名退所。7 月に機能訓練 1 名入所。9 月に医療的ケア増大のため 1 名退所、以前より問題行動の多かった女性利用者 1 名の契約解除を進め退所。10 月に機能訓練 1 名入所、11 月に機能訓練 1 名入所。1 月に機能訓練終了にて 1 名退所。2 月生活介護 1 名入所で年度末入所者 42 名。

□通所：19.6名/日 前年度21名/日 目標21名 未達成

インフルエンザ蔓延により通所を1月6日～11日まで休止、縮小 約250万減収
報酬改定で本体報酬が下がり予算達成が困難になった為、大幅な送迎時間の変更や配車割り、勤務時間の変更を行い対応。8月から軌道に乗ったが、正月のインフルエンザ蔓延による休止、縮小せざるを得なく、結果未達成となった。

新規利用者6名（機能訓練1名、生活介護5名）が利用開始。

利用終了7名（2名かなさんどう入所、1名死去、1名介護保険移行、2名機能訓練満期、1名状態悪化のため利用終了。）

□短期入所：129.7%、前年度153.4% 目標140% 未達成

インフルエンザ蔓延により1月、2月縮小 約200万の減収
新規利用者で10名の受け入れをし、障害児（12歳）も受け入れることができた。下半期には毎月15日程度利用されていた方が施設入所になり利用終了。定期利用の方の支給日数を増やし、支給日数満度に受け入れられるよう調整。また医療的ケアが必要な利用者の日帰り短期入所も開始し増収を目指した。

通所利用者のご家族が体調不良（手術等）や冠婚葬祭の為、緊急案件も受け入れ、相談員や行政と連携し在宅生活の継続を支援することができた。

正月のインフルエンザ蔓延により受け入れを中止、縮小。キャンセルが相次いだことにより、平均稼働率140%が1月36%、2月116%まで下がり平均収入が1月59万、2月178万まで大幅に減収。その他の期間は安定して受け入れすることができたが、1.2月の稼働率が下がったことにより、目標未達成となった。

□修繕を計画的に行い、ベッド交換5台及び修理（5月）、4ヵ年計画の2年目にて高圧受電設備交換（10月）、ウォーターベッド交換（1月）、スタッフルーム等のエアコン7台（3月）に入れ替え交換実施。

② 人材育成と確保

- ・新人育成は個性も覚える速度も異なり、まずは日中の勤務を中心に一緒に業務を実施し、その職員に合った指導の方法を考えて教えていくようにした。
- ・介護技術の確認をすることで、指導教育が必要な部分が明確となり個別の指導をあわせて実施。
- ・外部研修に積極的に参加、受講する職員を選別することで、キャリア別研修の場となった。
- ・個人目標は本人と役職者が毎月振り返りを行い、必要に応じての面談を継続した。
- ・7期生の外国人技能実習生1名（1号技能実習生）を7月から雇用した。
- ・3期生の特定技能1名が12月で退職した。
- ・2名の外国人職員が実務者研修を修了することができた。
- ・介護福祉士2名、精神保健福祉士1名の資格取得ができた。
- ・介護職の喀痰吸引等資格取得に努め、3名が研修修了することができた。
- ・防災士1名資格取得ができた。

③ サービスの質の向上

□生活支援

- ・事業計画に基づき入所と通所、役職者で目標を設定、リーダー会議にて毎月振り返り目標達成に努めた。
- ・職員の意識統一を図り、現状の問題点を話し合うために入所会議を3回開催した。また事前に話しやすい雰囲気を作るために懇親会を1回行った。
- ・職員の介護チェックを実施するためチェック項目の選定を行った。
- ・通所の家族懇談会を開催し18名の家族が参加、得た情報を会議や申し送りで伝達し支援に活かした。
- ・「看護師による喀痰吸引等の研修」を継続、認定特定行為業務従事者が現在13名、2名が実地研修中、令和6年度には15名になり、3名が受講予定。

□医療面

- ・令和6年度入所9名入院、前年度11名入院。入院日数は令和6年度380日、前年度277日より増加。長期入院2名は医療的ケアが増大となり退所となった。生活支援員と看護師で連携し対応に努めた。
- ・医療的ケアが必要な利用者が入所、通所、加え短期入所でも増えてきたため、勤務時間を柔軟に調整し対応した。
- ・「看護師による喀痰吸引の研修」を継続し、生活支援の中で、職員の気づきと根拠を持ったうえで生活支援ができるよう連携強化に努めた。
- ・理学療法士1名、作業療法士1名で身体機能の維持・回復に努め、高齢部門や就労と関わり法人内連携を継続した。

④ 地域とのつながり

- ・聖カタリナ大学・河原医療福祉専門学校、松山学院高等学校、日本福祉大学、四国中央医療福祉総合学院からの実習生を積極的に受け入れた。昨年度に引き続き、なないろ工房に協力を得て宿泊実習の受け入れを行った。
- ・障害者スポーツ大会に利用者7名が参加することが出来た。
- ・3/5に北条地区の社会福祉協議会、民生委員に対して施設見学会を開催した。
- ・介助犬、聴導犬の育成に取り組む団体と協力して、啓蒙活動を通じ介助犬や聴導犬に対する理解を深めた。

⑤ 事故・障害者虐待防止法

- ・虐待防止委員会は就労と合同で開催し、障害部門としての取り組みを継続した。
- ・虐待防止アンケート調査を実施し内部研修に繋げた。
- ・虐待防止に取り組むため、虐待版ヒヤリハットを始めた。
- ・虐待防止ポスターを利用者目線で作成、虐待が起こりそうな場面を再現した写真で掲示した。
- ・事故防止、虐待防止ともに内部研修を開催し理解を深めた。

【課題・問題点】

① 収益の改善

- ・感染症によるクラスターは職員と利用者共に不利益であり、収入にも直結することを痛感、正月等の長期病院休院時の対策が不十分であった。
- ・医療的ケア増大で利用継続が困難な利用者が増えてきている。
- ・加算算定要綱に対応できていない。

② 人材育成と確保

- ・退職する職員が多く出たにも関わらず、職員確保が出来ていない。
- ・新入職員の年度末での到達目標を明確に出来ていなかった。
- ・職員が自身のキャリアを見据えられるような職場環境を整えられなかった。

③ サービスの質の向上

- ・ケアガイドラインを推進しケアの統一を図っているが、中途半端になっている。
- ・指示系統の整理が不十分なため、情報伝達に混乱があった。
- ・関わりの記録において自分の思ったこと・感じたことが残せていないケースがある。
- ・現場で対応すべき事柄において迅速かつ的確な判断を下せる人材・人員体制が整っていない。
- ・重度化と重複障害者に加え精神疾患の利用者が増え、身体介護と精神面での支援が重なり職員の負担が大きい。
- ・年々増加する医療的ケアや重度化・高齢化により早朝から夜間にかけて生活支援員と看護師が対応する場面が増えている。

【改善策について】

① 収益の改善

- ・感染症を蔓延させないように職員の健康管理と医療機関との連携強化。
- ・入所は42満床とし入所支援100%目指し収入を安定させる。
- ・通所は回復期や相談支援事業所に営業を行い、新規利用者10名を目標数値とする。
- ・加算算定のため、身体障害者手帳の見直しや書き換え等の体制整備に努める。
- ・2年後の報酬改定の動向を把握し体制整備に努める。
- ・物価高騰に対しては、光熱費・水道料金の節約、物品や購入先の見直しを行い支出を抑える。
- ・修繕計画をもとに、計画的に補助金や助成金に申請・応募する。

② 人材育成と確保

- ・関わりの様子記録は継続し、業務やケア以外で利用者と関わる機会を増やす意識付けを行う。
- ・個々の職員にあわせたアドバイス、各利用者に対しての具体的な生活支援について目標の振り返りや面談を行う。
- ・2年目までの職員には2年目終了時の到達目標を明確にし、担当職員となった役職者を中心に情報共有しながら目標達成に導く。
- ・役職者が話し合う機会を増やし自分の意見や考えをお互いが認め合いながら、職員を牽引していく体制を目指す。
- ・職員がストレスを抱え込まず、自身を守ることができるよう施設として対応していく。

③ サービスの質の向上

- ・ ケアガイドラインを推進するため新規に委員会を立ち上げ、委員会中心に確認や指導を行う。
- ・ 家族懇談会やケア会、モニタリングを活用し、情報共有した内容を支援に繋げていく。
- ・ 記録に関しては個別面談を利用し、指導やアドバイスをを行い個別支援計画に繋げていく。
- ・ 個別支援の充実を図るために、どのような記録を残すか考慮した書き方に取り組む。
- ・ 日々の連絡帳に笑顔が見られた時の様子を記入し、家族に楽しんでいる様子を伝えていく。
- ・ タイムスケジュールや職員の動き方を見直し、全体の底上げをする。

④ 事故防止・障がい者虐待防止

- ・ 事故、ヒヤリハットに関しては区別のつきにくい案件があり、施設全体で研修を実施し再発防止に努める。
- ・ 虐待ヒヤリハットの活性化。
- ・ 基本的人権への配慮について、日常生活支援の中で気づきにくい権利侵害があることを、障害部門全体で知る機会を作り、意識を高める。また定期的に日々の支援状況の把握と知識が定着しているか評価を行う仕組みづくりに努める。
- ・ 注意し合える職場環境づくりに努める。

⑤ 地域との繋がり

- ・ 地域連携推進会議の開催。

⑥ 防災

- ・ 訓練、研修を通じて利用者・全職員の防災意識を高め、大規模災害に対応出来るよう知識や心構えの習得を行う。
- ・ 昼想定、夜間想定避難訓練、防犯訓練を年間で計画的に実施する。
- ・ 大規模災害を想定し、食料品及び日用品等の備蓄の確保など、非常災害対策の強化を図る。
- ・ 非常災害、緊急時に福祉避難所としての役割が果たせるよう、また利用者が安全に避難できるよう地域の方々と協力体制に努めていく。

【利用者数及び稼働率】（月別）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	R6年度平均
入所支援 (定員40)	1日平均 利用者数	40.5	40.5	38.6	39.4	40.9	40.9	40.1	40.5	42.0	40.7	40.3	41.1	40.5
	稼働率	101.3%	101.2%	96.6%	98.5%	102.2%	102.2%	100.3%	101.3%	104.9%	101.9%	100.8%	102.8%	101.2%
短期支援 (定員4)	1日平均 利用者数	5.3	6.1	5.9	6.0	5.4	5.4	5.4	6.0	5.6	1.5	4.6	4.9	5.2
	稼働率	132.5%	151.6%	148.3%	150.0%	135.5%	135.8%	135.5%	150.0%	141.1%	36.3%	116.1%	123.4%	129.7%
生活介護 (定員50)	1日平均 利用者数	54.5	54.7	52.9	51.2	49.7	53.6	50.5	51.2	53.7	43.6	48.9	53.7	51.5
	稼働率	109.0%	109.4%	105.8%	102.4%	99.4%	107.1%	101.0%	102.4%	107.5%	87.2%	97.8%	107.3%	103.0%
機能訓練 (定員10)	1日平均 利用者数	2.7	2.8	2.8	2.9	3.3	3.6	3.4	3.3	3.5	3.1	2.6	2.2	3.0
	稼働率	26.9%	28.1%	28.0%	29.3%	33.3%	36.0%	34.1%	33.1%	35.4%	30.7%	25.8%	22.3%	30.3%

【利用者の状況】

身体障害	知的障害	精神障害	難病	その他	合 計
83 名	9 名	9 名	2 名		103 名

松山市	伊予市・松前町	今治市	宇和島市	その他	合 計
80 名	3 名	10 名	2 名	8 名	103 名

	18 歳未満	18～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～64 歳	65 歳以上	合 計
支援区分 6		14	7	10	17	15	63
支援区分 5		4	1	2	10	2	19
支援区分 4		1	1	2	11		15
支援区分 3					3	3	6
支援区分 2							
区分なし							
合 計		19	9	14	41	20	103

入所待機者数	270 名
--------	-------

【職員の状況】

職名	人数		資格（人数）
	常勤	非常勤	
施設長	1		看護師(1)
事務員	3		
看護師	4	6	看護師(5) 准看護師(5)
作業療法士	1	1	作業療法士(2)
理学療法士	1		理学療法士(1)
管理栄養士	1		管理栄養士(1)
サービス管理責任者	2		介護福祉士(1)・社会福祉士(1)
生活支援員	27	2	介護福祉士(19)・社会福祉士(5)
運転手・清掃・リネン		17	
ミャンマー実習生	11		
合計	51	26	
	77		

3. 各種委員会

委員会名	開催実績
通所会議	偶数月第1火曜日
入所会議	年3回
日中活動・給食委員会	毎月第1水曜日
事故防止委員会	毎月第2火曜日
リーダー会議・安全衛生委員会	毎月第2木曜日
虐待防止・身体拘束委員会	毎月第3火曜日
感染防止委員会	毎月第4火曜日
リハビリ会議	毎月第4木曜日
研修委員会（内部・外部）	不定期

4. 職員研修

実施月日	内部研修名	場所	参加人数
4/12	第1回中四国身障協研修委員会（外部）		1名
4/24	福祉用具シンポジウム（外部）		1名
5/7	愛媛県身障協施設長会（外部）		1名
5/15	介護福祉科施設実習担当者会（外部）		2名
5/16・17	第1回中四国身障協施設長研修会（外部）		1名
5/29	中四国自立訓練事業所協議会施設長会（外部）		1名
6/7・13	外国人介護人材に対する集合研修（外部）		6名
6/16・30	強度行動障がい支援者養成基礎研修（外部）		1名
6/29・30	意思決定支援と虐待防止研修（オンライン）	会議室	1名
7/1	松山市障がい者虐待防止研修会（外部）		1名
7/2・3	介護職員技術向上講習会（外部）		1名
7/17	技能実習責任者講習（外部）		1名
8/5	松山市障がい者虐待防止研修会（外部）		1名
8/26	外国人介護人材のための交流セミナー（外部）		3名
8/29・30	中四国身障協支援職員研修会（外部）		3名
9/10	救急法基礎研修（外部）		1名
9/18	中堅職員研修会（外部）		1名
9/25・26	防災士養成講座（外部）		1名
9/30	社会福祉法人施設長等研修会（オンライン）	会議室	1名
10/5	技能実習指導員講習（外部）		1名
10/17・18	愛媛県身障協職員研修大会（外部）		2名
10/24・25	中四国身障協事務管理研修会（外部）		2名
11/7・8	中四国自立訓練事業所協議会施職員研修会（外部）		3名
11/4・6・13・17・27	感染防止委員会研修（内部）	会議室	17名
11/21・22	中四国身障協支援施設職員研修会（外部）		2名
11/28	愛媛県サービス管理責任者研修会（外部）		1名
11/28・29	全国障害者リハビリテーション研究集会（外部）		2名
1/24	福祉の職場管理職員研修会（外部）		1名
1/25	防災士フォローアップ研修（外部）		2名
2/11・21・26	事故防止委員会研修（内部）	会議室	20名
2/13・14	第2回中四国身障協施設長研修会（外部）		2名
3/12・17・19・20・21・28	虐待防止委員会研修（内部）	会議室	35名

5. 行事・地域交流・ボランティア

(1) 行事

6月 カラオケ大会 6月～12月 入所苑外レク（外出）
12月 クリスマス会 3月 寿司パーティー

(2) 地域交流

時期（月日）	内容	参加者
4/28	地域清掃	職員
8/26	外国人介護人材交流セミナー	職員 技能実習生2名
9/22（中止）	地域清掃	
10/12	地区秋祭り（だんじり）	職員 地域
10/13	地区秋祭り（獅子舞）	職員 地域
10/14	地区秋祭り（神輿）	職員 地域
11/30	防災訓練	職員 地域

(3) 実習生受入れ（介護福祉士24名・社会福祉士7名）

時期（月日）	実習申込先	内容
6/10～7/5	河原医療福祉専門学校	介護実習（第Ⅰ-C期）2名
8/5～30	聖カタリナ大学	介護実習（第2期）2名
9/10～10/5	河原医療福祉専門学校	介護実習（第Ⅰ-C期）2名
3/17～24	河原医療福祉専門学校	介護実習（第Ⅰ-A期補習）1名
4/15～ 23日間	四国中央医療福祉総合学院	社会福祉士実習 女性2名
7/1～ 24日間	日本福祉大学	社会福祉士実習 女性1名
8/5～ 23日間	聖カタリナ大学	社会福祉士実習 女性1名
12/16～ 5日間	日本福祉大学	社会福祉士実習 女性1名
2/17～ 8日間	聖カタリナ大学	社会福祉士実習 男性1名
2/25～ 8日間	河原医療福祉専門学校	社会福祉士実習 男性1名

6. ヒヤリハットについて 804件（前年度719件）

①	転倒・転落（車椅子からずり落ち、精神面、ベッド柵外し等）	183件
②	薬（服薬時間、日付け間違い）	96件
③	経管・バルン（栄養剤カロリー、固定位置、テープ・接続外れ等）	24件
④	その他（忘れ物、居室環境、接触、衝突等）	501件

7. 事故報告について 174件（前年度168件）

①	転倒・転落（車椅子、便座からのずり落ち、ベルト外し等）	70件
②	薬（錠剤の落下、衣類やベッド床から薬発見等）	24件
③	忘れ物（通所・短期入所、食事伝票漏れ等）	19件
④	経管・バルン（チューブ抜去、接続外れ等）	11件
⑤	その他（利用者間トラブル、接触破損等）	50件

8. 苦情報告について 75件（前年度75件）

①	生活支援（食事の席や順番、風呂の順番、洗濯物汚れ等）	15件
②	施設体制	3件
③	利用者・職員	43件
④	その他	14件

令和 7 年 6 月 10 日

令和 6 年度 社会福祉法人 泰斗福社会
泰斗福社会相談支援事業所 事業報告書

1. 施設概要

- (1) 所在地 松山市苞木甲 202 番地 1
- (2) 施設種別・事業（定員）
- (3) 事業開始年月日 平成 21 年 4 月 1 日（相談支援事業）

2. 令和 6 年度実績報告

【取組内容】

○収益の確保

- ・新規相談件数 13 件 契約者数 10 件 終了者数 6 件
- ※前年度 新規相談件数 36 件 契約者数 31 件 終了者数 10 件
- ・担当人数 237 名（相談員①131 名 相談員②106 名）※令和 7 年 3 月末時点
- ※前昨年度比 担当人数+9 名（相談員①+6 名 相談員②+3 名）
- ・相談支援サービス令和 6 年度¥11,646,040 円（前年度比+1,360,700 円増）

○相談支援の質の向上

- ・毎月事業所内にて会議を開催（困難ケースの共有、苦情等へ対応等）
- ・相談支援センター主催のケース検討会や研修、部会等への参加
- R6.6.18 令和 6 年度 第 1 回グループスーパービジョン・連絡会
- R6.8.21 令和 6 年度 第 1 回松山市障がい者総合支援協議会・相談支援部会
- R5.10.22 令和 6 年度 第 3 回グループスーパービジョン・連絡会
- R7.1.30 松山市災害時避難行動要支援者「個別避難計画」作成支援に関する事業者説明会
- R7.2.18 令和 6 年度 第 5 回グループスーパービジョン・連絡会
- R7.3.24 令和 6 年度 第 2 回松山市障がい者総合支援協議会・相談支援部会

【課題と改善策について】

（収入面）

新規の相談件数、契約者数については昨年度と比べて約 3 分の 1 の人数に減り担当人数については約 9 名増に留まったが、相談支援の収入は昨年度から比べて約 136 万円増となった。定期のモニタリングや計画支援以外に対応するケースが多々ありその分を請求したことが主な要因と考えられる。

相談件数の減少については、お断りをするケースが増えていることで相談先が他の相談支援事業所へ回すことが増えていると思われる。

担当している方々の障害種別は、身体障害が全体の約 40%、知的障害が約 25%、精神障害が約 25%、

その他、発達障害、高次機能障害、難病を合わせて約 10%。障害種別の割合は昨年から変わらなかった。

(相談支援の質)

・受持ち人数が増加しての相談支援質の担保

相談員 2 名の受持ち人数がそれぞれ 100 名を超えている状況に加え年々支援の密度が高まるケースが増えている印象。要因としては利用者や家族の加齢等が挙げられる。今後の新規相談ケースについては訪問に係る時間や、予想される対応頻度などを慎重に検討して責任を持って担当できるケースを見極めていく必要がある。

【職員体制・利用者数・サービス費の状況】

(1) 職員体制

職名	人数		資格
	常勤	非常勤	
管理者	1		かなさんどう施設長兼務
相談員	2		介護福祉士・相談支援従事者・社会福祉士

(2) 担当者数 ※()内は令和 6 年度新規相談者

担当者数	身体	知的	精神	発達	高次脳	難病
237 名(児童 5 名)	100(6)	65(2)	66(3)	17(2)	8(2)	10(2)

※障害種別については重複カウント有り

(3) 相談支援サービス費 (月別)

令和 6 年度 相談支援サービス ¥11,646,040 円 (前年度比+1,360,700 円増)

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
¥973,130	¥999,160	¥1,056,420	¥837,120	¥827,930	¥956,520
256,060	137,750	327,700	10,400	2,510	194,520
10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
¥1,076,210	¥1,103,890	¥963,450	¥845,100	¥933,890	¥1,073,220
141,630	107,840	73,470	278,450	11,470	13,360

令和 6 年度 社会福祉法人 泰斗福祉会
障害部門 就労継続支援 A 型 癒しの森治療院 事業報告

1. 施設概要

- (1) 所在地 松山市祝谷 6 丁目 1264-5
 (2) 施設種別・事業（定員） 就労継続支援 A 型（10 名）
 (3) 事業開始年月日 平成 22 年 4 月 1 日

2. 令和 6 年度実績報告

【取組内容】

① 収益の改善

○ 運営

- ・利用者紹介活動の継続…松山市以外の市町村社協や相談事業所への依頼はできなかったが、他事業所の相談員からの紹介依頼とハローワークより（2 名獲得）
- ・開所日増：上期 4 日、下期 7 日、年間 11 日増
- ・報酬改定と利用者増加により訓練等給付費は増収

<年度比較>

	R4 年度	R5 年度	R6 年度
延べ利用者数	1,804 名	1,849 名	2,190 名
平均利用者数	7.1 名	6.9 名	8.3 名
訓練等給付費	15,587,970 円	15,978,070 円	20,175,640 円

※利用者数増減…R6 年 10 月に 1 名、11 月に 1 名、計 2 名雇用

○ 集客

- ・スポーツジムへのチラシ配布、ローカル新聞へのチラシ折込、SNS・DM の活用
- ・実績比較

	令和 5 年	令和 6 年	前年比
営業日数	266 日	267 日	100.4%
来院数	2,586 人	2,706 人	104.6%
治療院売上	7,266,000 円	8,458,700 円	116.4%
医療請求（訪問）	3,425,450 円	3,980,015 円	116.2%
治療院純利益①	10,497,147 円	12,187,725 円	111.1%
利用者工賃②	10,225,652 円	12,190,212 円	119.2%
差異①-②	271,495 円	-2,487 円	—
利用者数	9 名	12 名	—

※利用者工賃は、時給+成果給+賞与+手当類が含まれています。社保等の会社負担費用は含まれていません。

・新規客

R4 年度	R5 年度	R6 年度
134 名	154 名	165 名

※チラシ・DM・SNS の効果で新規客は毎年増えている。

② 人材育成と確保

○盲学校への見学訪問。

○情報共有会議 部門会議…月1回、就労会議…月1回、就労全体会議…年2回。

○個人目標の第三者評価ができていなかった。

③ 地域とのつながり

○地域の回覧板へチラシを掲載。

○ローカル新聞に折り込みチラシをいれて集客増を図った。

○公民館活動への参加が出来なかった。

○店舗周辺の清掃や草引きの実施（月2～3回）。

④ サービスの質の向上

○施術技術の向上と情報共有

- ・かなさんどうの『理学療法士』『作業療法士』から、関節の動かし方や運動の効果を学び、訪問施術の患者様の情報共有を行い施術に活かすことが出来た。

○院内勉強会（訓練）実施

- ・個別に習いたい症例を訓練日に全員で検討しながら施術訓練を行った。

○集客、施術数が少ないマッサージ師への支援方法

- ・新たなコースを作り集客と仕事量の確保に向けた支援を行った。

新人専用コースの設定…30分・60分のマッサージコースと45分のパルス鍼のコースを設定、
施術を受けたお客様に直接感想を聞き、見つかった課題に対して訓練を行った。

- ・運動法の勉強会には随時参加し、話し合う機会を設け個別にアドバイスをを行った。
- ・個別の疑問や課題に対して、先輩マッサージ師に協力頂き施術訓練を行った。

【課題・問題点】

① 収益の改善

- ・利用者不足…昨年度から新規利用者が増えて利用者不足は解消したが、今後定年を迎えるマッサージ師がいるので、利用者募集は継続する必要がある。（フルタイムで働ける女性マッサージ師の獲得）
- ・工賃の確保…新規客のリピート率が悪い、マッサージ師ごとの指名数に差がある。
- ・治療院売上アップと訪問の売上が安定していない。

② 人材育成と確保

- ・職員の個人目標作成、自己評価は上半期は出来てきていたが、第三者評価や確認不足により下半期はできていない。就労支援の人事評価表の作成が未だにできていない。
- ・社外研修や事業所見学等職員の知識向上に向けた取り組みが少ない。

③ サービスの質の向上

- ・技術・知識レベルに差がある。…施術訓練の指導・支援方法を見直しする必要がある。
- ・訓練時間を確保しにくい。

④ 事故防止・障がい者虐待防止法

- ・ヒヤリ・支援ヒヤリへの意識が足りない。
- ・職員だけではなく利用者への意識づけが出来ていない。

⑤ 地域とのつながり

- ・ 回覧板を利用した宣伝は出来たが、公民館などを活用した近隣地域への集客営業など検討していたが実施できていない。

【改善策について】

① 収益の改善

- ・ 利用者獲得…松山市内の相談事業所やヘルパー事業所への紹介営業を実施。
- ・ 工賃の確保…日本営業日（年3回）、医療請求の安定化、施術技術の向上（勉強会継続）。
- ・ 集客増を狙い、近隣施設（スポーツジムやマンションなど）や地域回覧板へのチラシ配布とローカル新聞への折り込みチラシ投入、地域公民館でのボランティアマッサージを企画する。
- ・ 職員マッサージを強化し治療院への来院を狙う。
- ・ 治療院の集客増を狙い、LINE や SNS の活用、疎遠客への DM 発送を継続する。

② 人材育成と確保

- ・ 個人目標作成後、毎月月末に自己評価は継続。第三者評価の評価日を決め、確実に評価できるようにする。
- ・ 社内研修会への参加、なないろ工房との連携を継続する。
- ・ 利用者一人一人の理解を深め、話し方や伝え方による利用者の感じ方や言動の違いなどを職員間で情報共有し職員のコミュニケーション力や対応力向上を目指す。

③ サービスの質の向上

- ・ 治療院内訓練を計画的に実施（4/7、6/5、8/4、10/6、12/4、2/2 の 10：00～11：00）する。
- ・ かなさんどうの『理学療法士』『作業療法士』と連携した勉強会を継続（月1～2回実施）する。
- ・ 利用者の接客技術向上の為、施術中や施術後にお客様が次も行きたいと思えるような一言などアドバイスを行う。
- ・ 泰斗福祉会の他事業所の職員にも協力を頂き、実際の施術を通して課題を見つける。
- ・ 新人マッサージ師とリピート数・指名数の伸び悩んでいるマッサージ師を対象に、訓練を兼ねたマッサージを行う。
- ・ 相談支援専門員との連携をとり、治療院の相談室にてサービス担当者会議を定期的に行う。
- ・ 利用者との面談を定期的に行い、利用者の思いを個別支援計画に繋げ支援していく。
- ・ 感染症対策の継続と利用者の健康管理（検温、体調確認、健康診断）を継続する。

④ 地域とのつながり

- ・ 回覧板から地域行事の情報を得る。
- ・ 回覧板によるチラシ配布で地域の方々の集客を増やす。
- ・ 公民館など地域交流の場を活用したボランティアマッサージや宣伝、集客営業を実施する。

⑤ 事故防止・障がい者虐待防止法

- ・ 視覚障がい者施設特有のヒヤリハット（軽度の衝突やつまずき、転倒）など、日常起きていることにも今まで以上に気を配り、朝礼や終礼、訓練日で周知し事故防止に努める。
- ・ 社内の虐待防止研修に参加する。

【平均利用者数及び稼働率（定員：10名）】（月別）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
就労A型 (名)	7.5	7.4	7.2	7.1	6.6	7.7	8.8	9.0	9.4	9.1	9.4	9.3
稼働率	75%	74%	72%	71%	66%	77%	88%	90%	94%	91%	94%	93%

【利用者の状況】

身体障害	知的障害	精神障害	難病	その他	合 計
11 名	0 名	1 名	0 名	0 名	12 名

松山市	伊予	今治市	宇和島市	その他	合 計
10 名	1 名	1 名	0 名	0 名	12 名

	18歳未満	19～29歳	30～39歳	40～49歳	50～64歳	65歳以上	合 計
支援区分 6							
支援区分 5							
支援区分 4					1		1
支援区分 3			1		2		3
支援区分 2							
支援区分 1							
非該当		1	2	3	2		8
合 計		1	3	3	5		12

【職員の状況】

職名	人数		資格（人数）	
	常勤	非常勤		
管理者	1			かなさんどう施設長兼務
サービス管理責任者	1		介護福祉士（1）	なないろ工房兼務
運転手		1		
職業指導員	1			
生活支援員	1	1	介護福祉士（1）	
合計	4	2		
	6			

3. 各種委員会

委員会名	開催実績
部門会議	毎月1回（第3水曜日）
就労会議	毎月1回（第4水曜日）

4. 職員研修

実施月日	研修名	場所	参加人数
4～3月	行事委員会（年10回）	かなさんどう	2
10月17日	松山盲学校公開セミナー	松山盲学校	1
2月3日	田中エリナ講演会	かなさんどう	1
3月12・17日	虐待防止研修	かなさんどう	2

5. 行事・地域交流・ボランティア

（1）行事 ボランティア

（2）危機管理

時期（月日）	内容	参加者
6月10日	避難訓練（地震）	利用者8名、支援員2名、指導員1名
12月17日	シェイクアウト訓練参加	利用者4名、指導員1名

（3）地域交流

エデンの園納涼祭…癒しの森の駐車場を貸出

地域回覧板…令和7年1・2月号にチラシ掲載

（4）実習生受入れ

なし

6. ヒヤリハットについて

①	受付レジ対応	2件
②	治療院内	5件
③	送迎車（乗降時・送迎ルートなど）	2件
④	訪問時	1件
⑤	支援ヒヤリ	4件

7. 事故報告について

①	治療院での衝突・尻もちなど	3件
②	訪問先の通路や居室で衝突	2件
③	送迎トラブル	3件
④	治療院のコース間違い	2件
⑤	訪問先で施術中、お客様の足が車いすのステップに挟まった	1件

8. 苦情報告について

①	お客様より（治療院施術1件、訪問施術1件、治療院通路1件）	3件
②	利用者間の苦情	3件
③	ハラスメント（利用者から職員に対して）	1件

令和 7 年 6 月 10 日

令和 6 年度 社会福祉法人 泰斗福祉会
就労継続支援 B 型なないろ工房 事業報告

1. 施設概要

- (1) 所在地 松山市苞木甲 202 番地 1
(2) 施設種別・事業（定員） 就労継続支援 B 型（10 名）
(3) 事業開始年月日 平成 22 年 4 月 1 日

2. 令和 6 年度実績報告

【取組内容】

① 収益の改善

○運営：目標平均利用者数 12 名、利用者獲得を目指し営業活動を行う

：2 年後 3 年後の利用者獲得を目指し、学校や放課後等デイサービスへの営業を行う

：開所日の年間約 10 日間の増加継続と一人一人の利用率を高められる支援の実施

<前年度比>

	R4 年度	R5 年度	R6 年度
延べ利用者数	3, 136 名	2, 756 名	2, 734 名
平均利用者数	11. 7 名	10. 1 名	10. 1 名
訓練等給付費	28, 242, 830 円	25, 363, 020 円	29, 296, 400 円

○利用状況 → R5 年度登録利用者 11 名 R6 年度登録利用者 12 名 1 名増(3 月末時点)

・営業活動 みなら特別支援学校の合同説明会に参加 その後見学 1 件に繋がった。

それ以外では営業を行うことはできなかった。

・新規利用 4 月に 1 名(週 3)利用開始。

・体調不良により利用が不安定な利用者 1 名(R5 年度 1 月に週 5 利用が週 4 利用に)。

・利用者数自体は 1 名増えたものの、トータルでは延べ平均共に伸びなかった。

・開所日数は木曜日等を利用し 10 日増加を継続。

・基本報酬が報酬改定と高い工賃を維持できていることで前年度より 643 単位→805 単位に UP。

給付費収入は前年比 3, 933, 380 円(約 115%)UP。

○工賃：積極的に作業の受注を行い月額工賃の平均 35 万円を目指す

：農福連携や行政を通じた作業受注を行い、年間売上向上と安定を目指す

<売上状況>

	R4 年度		R5 年度		R6 年度	
作業名	上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期
内職	1, 021, 261	981, 658	1, 151, 299	1, 116, 909	1, 221, 524	1, 112, 080
外作業	1, 316, 247	1, 635, 926	1, 890, 660	1, 790, 585	1, 919, 820	2, 031, 935
合計	2, 337, 508	2, 617, 584	3, 041, 959	2, 907, 494	3, 141, 344	3, 144, 015
	4, 955, 092 円		5, 949, 453 円		6, 285, 359 円	

・内職は継続的、安定的に作業受注が行えており前年度から維持できている。

- ・ 外作業は農福連携を含め定期的な作業が増え、加えて単発の作業も出来る限り受注し売上増。
- ・ 全体として前年度より 335,906 円(約 105%)UP。

<工賃状況>

	R4 年度	R5 年度	R6 年度
総支給額	4,112,286 円	4,875,306 円	4,992,303 円
月総額平均	342,690 円	406,275 円	416,025 円
一人当たりの平均	29,042 円	37,953 円	35,323 円

総支給額 116,997 円 UP

- ・ 年 2 回の賞与支給を継続できた。
- ・ 総支給額は前年度下半期の数値をベースに維持することができた。
- ・ 高い工賃単価を維持することにより令和 6 年度の基本報酬 805 単位となり、前年度から 162 単位 UP。

② 人材育成と確保

○職員の個人目標とその評価

個人目標を作成し毎月自己評価を実施しているが、第三者評価が遅れている。

評価表の作成が出来ていない。

○利用者との関係づくりと対応力 UP

担当利用者との月に一度の話し合いやモニタリングは継続できており、個別支援作成の流れは少しずつ良くなってきている。

下半期は会議の場を用いた内部での勉強会を実施した。

職員間の意識、方向性のバラつきがあり、利用者支援や作業に対する考え方に違いが出ている。

○作業技術・知識の向上

6 月 伐木等の業務に係る特別教育講習参加(1 名)

6 月 就労支援のための相談援助技術研修参加(1 名)

その他の外部の研修参加や施設見学等が出来ていない。

③ サービスの質の向上

○売上 & 工賃の向上と安定

売上の向上により環境整備として道具購入や次年度に向けた準備が行えた。

工賃の維持が出来ており、単価を少しずつ上げていける目処がたっている。

○働きやすく安全な環境をつくる

売上が安定していることで作業環境の整備(道具や熱中症対策など)を少しずつ行えている。

○ニーズに合わせたレクリエーション

工賃を使ったニーズに合わせたレクリエーションを実施。

全体レクレーションとして BBQ、新年会を実施。

休憩時間を活用した運動やゲームを行い、作業とのメリハリや健康維持にアプローチできた。

- 利用者の意向や障害特性に応じた、就労機会が得られるよう支援する
納期のある作業に追われ、効率重視の作業提供がベースになってしまい、
意向や特性に応じた作業提供が難しくなっている。

④ 地域とのつながり

- 作業地域での関係づくり、地元企業・農家さんとの繋がり
外作業を中心に様々な地域での作業を継続。
農家さんや地元企業さんとの関係づくりも良好。

⑤ 事故・障害者虐待防止

- 障害者虐待防止研修へ参加し、職員が自分の支援について振り返る機会を設ける
担当者が虐待防止委員会に参加し、部門会議を通じて他職員に情報共有を行えている。
各職員は内部研修を行っている。又、部門会議で声掛けの利用者対応の方法等について話す機会を増やしている。
- 部門間でヒヤリハット、事故報告の共有を行い未然・再発防止に取り組む
通常のヒヤリハット以外に、虐待防止の観点から支援ヒヤリを開始した。各職員がそれぞれに支援の内容や発言を考えるきっかけになっている。
下半期後半からヒヤリハットが少なくなり、気づきへの意識が少し薄れている。
- 利用者の状態、家庭での状況に応じ、就労状況だけでなく生活面への支援を行う。
各利用者の状態、家庭での状況に合わせた生活面への支援も毎月の話し合いやモニタリング等を通じて、服薬管理のサポートやその人の状態に合わせた運動の取組みなどが行えている。

【課題・問題点】

① 収益の改善

- 作業売上は安定しているものの、新規利用者獲得が出来ていない。
- 利用者の高齢化により利用が安定していない方がいる。

② 人材育成と確保

- 職員の個人目標作成、自己評価は出来てきているが、評価遅れや、就労支援の人事評価表の作成が未だにできていない。
- 職員間の支援や作業に対する意識の違いから、議論がかみ合わないことがある。
どこを目指すか、方向性等、全体の意識統一が必要。
- 個別支援作成において、これまで言語による壁があり取り組めていなかった職員については個別でサポートする必要がある。

③ サービスの質の向上

- 作業に追われてしまう状況が続いている為、効率重視の作業配分がベースとなっており、
余裕を持った対応や支援の柔軟性に欠け、その人に合った作業提供を考え実施することができていない。

【改善策について】

① 収益の改善

- 利用者獲得に向けた営業が行えていない為、新規利用者獲得に向けた営業は必要。
今年度行えなかった放課後等デイサービス等への営業を来年度は行う。

② 人材育成と確保

- 個人目標作成後、毎月月末に自己評価は継続。第三者評価の評価日を決め、確実に評価できるようにする。
来年度上半期に人事評価表のベース作成し、下半期で評価を実施しつつ修正を行う。
- 勉強会や個人目標の共通目標等を活かして、方向性や意識統一を図り、職員一人一人に考える機会を増やし、より良いサービスを全体として作っていけるよう促すことで職員の成長に繋げる。
- 翻訳機能を使った作成が行えるようサポートし、取り組める仕事の幅を増やしていく。

③ サービスの質の向上

- 多くの利用者が関わる内職作業から、作業量の調整を行い、追われる状況の改善を行っていく。
また、そこで出来た余裕を支援に活かすことができるようサポートを行う。

【平均利用者数及び稼働率（定員 10 名）】（月別）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
就労 B (定員 10 名)	9.7	9.7	9.8	9.7	10.4	9.7	10.7	10.2	10.5	9.7	11.1	10.0
稼働率	97%	97%	98%	97%	104%	97%	107%	102%	105%	97%	111%	100%

【利用者の状況】

身体障害	知的障害	精神障害	難病	その他	合 計
5	4	3			12

松山市	伊予市・松前町		今治市	宇和島市		その他	合 計
10	1		1				12
	18 歳未満	19～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～64 歳	65 歳以上	合 計
支援区分 6							
支援区分 5			1				1
支援区分 4			1		2		3
支援区分 3		1	1	1	1		4
支援区分 2					1		1
支援区分 1							
非該当				1	2		3
合 計		1	3	2	6	0	12

【職員の状況】

職名	人数		資格（人数）	
	常勤	非常勤		
管理者	1			かなさんどう施設長兼務
サービス管理責任者	1		介護福祉士（1）	A 型兼務
職業指導員	1		介護福祉士（1）	
生活支援員	3	2	介護福祉士（1）	
目標工賃達成指導員	1			
運転手		1		
合計	7	3		
	10			

3. 各種委員会

委員会名	開催実績
リーダー会議	毎月第4水曜日
部門会議	毎月第3土曜日

4. 職員研修

実施月日	研修名	場所	人数
12月、1月	虐待防止研修	かなさんどう	9

5. 行事・地域交流・ボランティア

(1) 行事 ボランティア

<レクリエーション>○この他、各利用者の誕生日月に誕生日会は継続。

時期（月日）	内容
5月	障がい者スポーツ大会(6名)
5月	全体レク BBQ
6月	個別レク ボウリング、食事(3名)
7月	個別レク 香川うどんめぐり(3名)
10月	個別レク 運動会見学、食事(1名)
10月	全国障がい者スポーツ大会 SAGA(1名)
10月	全体レク BBQ
11月	個別レク 食事(1名)
12月	個別レク カラオケ、買い物、食事(1名)
12月	法人クリスマス会、もちつき参加
1月	全体レク 新年会
1月	個別レク 映画鑑賞、食事(1名)

(2) 地域交流

時期（月日）	内容	参加者
5月、10月	苞木地区清掃	職員

(3) 実習生受入れ

時期（月日）	実習申込先	内容
4/29～5/4	四国中央医療福祉総合学院	社会福祉士実習女性1名
5/20～5/25	四国中央医療福祉総合学院	社会福祉士実習女性1名
7/15～7/20	日本福祉大学	社会福祉士実習女性1名

6. ヒヤリハットについて 24 件

1	転倒しかけ、ふらつき	7 件
2	送迎時、別の車両に間違っ乗りそうになった	1 件
3	農作業時、2 t 車両がぬかるみにハマる	1 件
4	忘れ物を見つけ届ける	2 件
5	熱中症なりかけ、体調崩す	1 件
6	アルコールアレルギーの利用者にアルコール消毒をしてしまう	1 件
7	食事時の咳込み	1 件
8	利用者が1名まだ乗っていないまま送迎しかけ	1 件
9	全国障がい者スポーツ大会をきっかけに家庭での服薬管理が出来ていないことに気付く	1 件
10	ご家族から利用時間変更の連絡があったが、不思議に思いケアマネを通じて確認すると、ご家族の勘違いであった	1 件
11	退所時に貼っていたカイロを剥がそうと思っていたのに忘れてしまった	1 件
12	薬が落ちていたのを発見、いつの薬かは不明	1 件
13	納品時間間違え	1 件
14	利用者の体調確認不足	1 件
15	内職資材や物を持って帰ろうとする	2 件
16	利用者が高い所にある物を取る際に椅子に登っていた	1 件

支援ヒヤリ 13 件

1	体調不良をゲームによる寝不足と決めつけた発言	1 件
2	作業室での職員同士のヒソヒソ話	1 件
3	利用者との約束忘れ	2 件
4	チャイルドロックが知らないうちにかかっていたことを特定の利用者と決めつけた発言を他職員の前で呟いてしまった	1 件
5	床の汚れを掃除する際、その付近に居た利用者かもと呟いてしまった	1 件
6	全国スポーツ大会前に半分冗談も含め、「髪を切らないと」と話した次の日髪を切っていた。発言が影響を与えることを考えられていなかった	1 件
7	薬を飲めているか不安があり、「ちゃんと飲めた？」とさも疑ったような声掛けをしそうになる	1 件
8	ヒゲが伸びている利用者を見て「おじいちゃんみたい」と声を掛けてしまった	1 件
9	移動に時間がかかっている利用者に「早く」と声掛けしてしまった	1 件
10	「ちんば」、「かたちんば」という言葉に悪い意味があると知らず使っていた	1 件
11	利用者に渡していた予定表の間違いをご家族様に教えて頂いた	1 件
12	利用者の他の人への態度に対する注意が厳しすぎたかも	1 件

7. 事故報告について 25 件

1	全体レクレーション時の送迎遅れ、事前連絡ミス	1 件
2	清掃作業場所で資材を破損	2 件
3	納品数間違い	1 件
4	転倒、膝つき	7 件
5	蜂刺され	1 件
6	外作業中の怪我	3 件
7	交通違反(一時停止)	1 件
8	内職の部品入れ間違い	1 件
9	外作業時、車両事故	2 件
10	送迎忘れ	3 件
11	内職物品、接触による落下	1 件
12	服薬忘れ	1 件
13	退所時間忘れによる JR 乗り遅れ	1 件

8. 苦情報告について 0 件

1	なし	
---	----	--

令和 7 年 6 月 10 日

令和 6 年度 社会福祉法人 泰斗福祉会
高齢者総合福祉施設 風早の家 事業報告書

1. 施設概要

- (1) 所在地 松山市菟木甲 200 番地
- (2) 施設種別・事業（定員） 高齢者総合福祉施設 風早の家
- | | | |
|-----------|------|------|
| 特別養護老人ホーム | 風早の家 | 29 名 |
| ショートステイ | すぼき | 9 名 |
| デイサービス | かしま | 18 名 |
| 小規模多機能 | にじいろ | 29 名 |
| 居宅介護支援事業所 | ウイング | 35 名 |
- (3) 事業開始年月日
- | | |
|-----------------|--------------------|
| 平成 24 年 4 月 1 日 | （高齢者総合福祉施設 風早の家） |
| 平成 24 年 8 月 1 日 | （ショートステイ すぼき） |
| 令和 4 年 11 月 1 日 | （（共生型）ショートステイ すぼき） |
| 令和 3 年 4 月 1 日 | （（介護予防）小規模多機能にじいろ） |

2. 令和 6 年度実績報告

特別養護老人ホーム 風早の家	事業報告書
ショートステイ すぼき	事業報告書

1. 令和 6 年度実績報告

【取組内容】

① 収益の改善

- ・特養 稼働率 94% 稼働率前年比 96.3% 年間通して入所 6 名、退所 6 名。4 月～6 月はほぼ満床を維持していたが、その後待機者確保が難しく、1 床～3 床の空床が続いてしまった。収入としては今年度予算に対して達成率 99.4%、金額 83 万円減収となり、前年比でも、170 万円の減収となった。

ショートステイすぼき 稼働率 80.8% 稼働率前年比 108.9%。前年度と比較して、ロングショート利用者が減少し、特に上半期は稼働率が安定しなかったが、猛暑の影響もあり、夏頃から緊急受け入れを含む、新規利用者が増加、さらに、特養の空床利用を行ったことで、下半期稼働率は 92.4% を達成できた。収入も予算に対して達成率 104%、金額 169 万円増収、前年比では、115%、490 万円の増収となった。

- ・特養について、各事業所と連携をとり特養入所への協力を受けた。居宅・病院の地域連携室への営業を増やし、満床にするよう心掛けた。
- ・事業所運営会議では風早の家全事業所の収支を確認し合い、アドバイスを受けて取り組み、風早の家全体の収益改善を目指した。
- ・ショートステイすぼきに関して、相談を受けた新規利用者は積極的に受け入れ、居宅ケアマネとの信頼関係を深め、リピーターを増やし収益に繋げた。

- ・ 倭約（節電・節水・物品の節約等）を掲げ、全職員が各々無駄をなくしコスト削減に努めた。おむつに関しては品質の良いユニチャーム製品を取り入れ、交換回数を減らし睡眠の安定を図りつつコストダウンを図った。

② 人材育成と確保

- ・ 月1回、施設長、ユニットリーダー、生活相談員、ケアマネが話し合う場を作り、定期的に取り組んでいる内容や課題（勤怠、自己評価等）について話し合い、各ユニット職員に報告し共有した。
- ・ 令和6年度事業計画書を基本に職員成長支援制度（PCフォルダ内）を継続。各々が立てた個人目標を念頭に業務に取り組み、試行と反省を記録し、ユニットリーダーがコメントを作成した。
- ・ 令和6年7月受け入れの外国人技能実習生（女性2名）、9月入職の特定技能実習生（女性1名）については、日勤業務を習得できており、今後夜勤業務を習得する予定。
- ・ 令和6年度介護福祉士合格者2名（うち特定技能実習生1名）
- ・ 介護福祉士養成実習施設実習指導者資格を取得（1名）、特養ユニットで北条高校介護実習生（3年生）を2名受け入れた。（うち1名が4月入職）
- ・ どのユニットでも任せられる人材を増やすため、他ユニットでの利用者への対応について学ぶ機会を持ち、支援に活かした。

③ サービスの質の向上

○職員の資質（専門的な知識・技術・倫理観）の向上

- ・ 各ユニット、事業所での職員会で年間計画に沿った研修を月1回実施し、介護について必要な知識が習得できるよう努めた。
- ・ 県社協、市社協、介護労働安定センター、オンライン研修等、職員各々が研修へ参加、受講後復命書を作成し、職員のスキルアップに繋げた。（年2回以上を受講）
- ・ 研修委員は年2回の担当月に研修資料を作成し全事業所に配布、研修復命書の確認を行い、担当職がまとめた。
- ・ 申し送りがスムーズに行われ職員間で共有しやすいよう申し送り用紙の見直しを行い、利用者についての最新情報が分かるようにした。
- ・ 職員会では各職員が担当利用者のアセスメントを行い、各職種で意見を出し合いケアプランに反映させた。利用者一人ひとりの支援に活かし、満足度に繋がられるよう努めた。
- ・ 年2回、衣替え時期に持ち物チェックを行い、必要物品が分かるよう家族に書面で報告した。

【風早の家】

- ・ 施設内行事やボランティア（歌・ハーモニカ・尺八演奏等）を定期的に開催した。また、かなさんどうで開催される愛媛プロレス等イベントへの参加や、もりもりキッズの訪問等を楽しんだ。花見やドライブ等利用者に外出機会を提供し、利用者の楽しみに繋げた。
- ・ ユニットケアを意識し環境を改善、植物や花を置く等利用者がくつろげる場所を提供した。
- ・ 毎月利用者家族に近況報告の手紙を郵送した（1か月間の近況報告と利用者の写真）。
- ・ 家族との面会や外出、外食に柔軟に対応し、笑顔で過ごせ関係性が維持できるよう努めた。

【すぼき】

- ・ ショートステイ利用期間中は、家族・本人・居宅の意向を元に生活リハビリや生活刺激を取り入れた。在宅生活の継続を目標に、ADLの維持向上に努めた。
- ・ 利用中、利用後の状況について家族・担当ケアマネ・関係機関へこまめに報告相談し、情報を共有

することができた。

- ・共生型サービスについて、外部への営業及び障がい部門との連携により利用者を受け入れた。介護保険と障がい福祉サービスの違いや、支援内容など、知識や技術の向上に努めた。

④ 地域とのつながり

- ・運営推進会議では、地域の方々に当事業所の活動内容や取り組みについて知って頂く事ができた。また様々な疑問点や問題点について話し合う事で、信頼関係を構築する事ができた。
- ・地域包括支援センター北条主催の「チームオレンジ」では、月1回（第3木曜日）行われる勉強会やレクへの参加を継続し、必要時には相談を受け地域の顔馴染みとなれるよう努めた。
- ・地域行事（防災訓練・草刈り・溝掃除等）への積極的な参加を継続し行った。また地域ボランティアを定期的に受け入れ、尺八の演奏会、ハーモニカ演奏会等を開催した。
- ・なないろカフェに利用者と職員が一緒に出掛けることや、定期の訪問販売（とくし丸、コパンなど）を利用することで、地域の方々と触れ合う機会を持った。
- ・在宅配食サービス（風早キッチン）では高齢者向けの配食や安否確認をはじめ、日々の関わりの中で気になったことは声掛けを行い、地域の方々が安心して生活できるよう支援した。

⑤ 事故・高齢者虐待防止

- ・特養、ショートステイのヒヤリハットでは、急な立ち上がりや車いすのロック外しなどが多く見られたが、職員の対応や利用者の身体状況などにより減少傾向。事故については、車椅子からの転倒転落、皮膚脆弱な利用者の表皮剥離や臀部の剥離、既往から来る水疱や打撲による皮下出血等が多く見られた。ボードやリフトを使用し安全な介助ができるよう心掛けた。
- ・虐待、拘束、事故防止の法令研修については年2回以上の研修を行い、自分自身の関わり方について振り返り、今後に活かせるよう働きかけた。

【課題・問題点】

- ・特養待機者が確保できていなかったため、退所者数に入所者数が追いつかず、7月移行、特養に1～3床の空床期間が続いた。
- ・2年後に北条高校からの介護実習生受け入れが終了となるため、今後新しい高校や専門学校の受け入れを検討する必要がある。
- ・ユニット間での報告、連絡が曖昧で、他ユニットの現状が把握できていない事がある。
- ・各職員により個人目標を設定したが、まだ十分に活かしていない。
- ・申し送り用紙を作成したが、利用者の情報（突発的な事故や支援内容の変更等）の確認や入力が出ていない時があり、適切な支援が十分に行われていない。
- ・スピーチロックは改善傾向ではあるが、声掛けが不十分な職員がいる。
- ・なないろカフェの利用が特定の利用者に限られている。
- ・慢性的に腰痛のある職員がいる。

【改善策について】

① 収益の改善

- ・ 居宅ケアマネと電話や書面で利用者の様子についてこまめに報告し、情報共有に努める。また定期的に行う事業所訪問では、事業所それぞれの空き情報等を伝える。会話の中で最新の利用者情報があればいち早くキャッチし、風早の家全体で迅速に利用に繋がれるようやり取りを密に行う。
- ・ 定期的に入所判定会を行い、速やかに入所できるよう準備を進め、常時満床を目指す。

② 人材育成と確保

- ・ 認知症ケア加算に繋げるため、7年度も認知症介護実践者研修受講（1名）を進める。また介護福祉士養成実習施設実習指導者特別研修会への受講（1名）を進め、高校3年生や専門学校介護実習生を受け入れ、入職に繋げる。
- ・ 月1回第4金曜日にリーダー会（施設長、生活相談員、ユニットリーダー、介護支援専門員）を開催し、検討項目について意見交換を行う。決定した内容は各ユニット職員全員に伝え周知する。
- ・ 日頃から他ユニットに相談を持ち掛け、困りごとがあった時には自ユニットのみで解決しようとせず、全ユニットで有効な解決策を探り出す協力体制を作る。
- ・ 職員の事業所間異動を行い、職員の介護技術が向上、柔軟に対応できる人材を増やす。
- ・ ユニットリーダーは職員それぞれの個人目標進捗状況について把握、確認を行い、助言を行う。

③ サービスの質の向上

- ・ 無意識に行われやすい拘束（スピーチロック）について、研修を行いつつ職員同士で声を掛け合い、利用者に対し適切な声掛けができるような関係性を築く。
- ・ 利用者家族への近況報告を、ユニットリーダー、介護支援専門員、生活相談員、看護師により作成し、家族に安心して頂けるよう今後も継続していく。
- ・ 介護用リフトを使用して利用者を怪我なく安全に移乗し、職員の腰痛軽減を図る。
- ・ 利用者が定期的にカフェでくつろげるよう、計画的に声を掛け楽しい時間を過ごして頂く。

④ 事故・高齢者虐待防止

- ・ 現在身体拘束ゼロを更新中。今後も利用者を拘束することなく安全な生活を提供できるよう対応する。
- ・ 日々の支援に活用できる事例等具体的な内容で研修を行い、ヒヤリハットを多く、事故を少なくしていくことを再確認する機会を設け、職員の意識向上を図る。
- ・ 高齢者虐待防止について、施設内で起こる身近な例を取り上げ、定期的に研修を行うことで、高齢者虐待の理解を深め、施設内の虐待防止に繋げる。
- ・ 身体拘束についても定期的に研修を実施し、日々の支援の中で身体拘束につながりかねない事例について検討を行う。知らず知らずのうちに身体拘束を行ってしまわないよう職員へ意識づけや、知識を深め支援の質を上げるよう努める。
- ・ 1日1件を目標に積極的にヒヤリハット報告ができるよう、委員会メンバーが声を掛ける。必ず振り返りを行い、事故防止に繋げていく。

1. 令和6年度実績報告

【取組内容】

① 収益の改善

- ・稼働率 71.8%、稼働率前年比 95.4%、1 日平均利用数 12.9 人と前年に比べ下がり、前年に比べ 180 万円の減収となった。利用実人数は月 41.3 人と前年度とほぼ同等。要支援の利用者が増えているが平均単価も前年度とほぼ同等であった。
- ・包括北条や現在も利用者を紹介してくれている居宅と、新規利用者の相談などを密に行える関係性を構築した。
- ・かしま利用終了の方を、特養風早の家入所や小規模多機能にじいろへのサービスへ繋いだ。

② 人材育成と確保

- ・相談員育成のため、体験受け入れ、新規契約、担当者会議に指導係が同行し、流れや注意すべき点などを説明。その後、居宅ケアマネとの担当者会議には単独で参加し経験を積んだ。
- ・内部、外部研修の充実を図り、研修への参加を進めた。

③ サービスの質の向上

- ・毎日の朝礼・終礼、毎月職員会を行い、利用者支援や業務の改善について話し合いを行った。
- ・毎日のレクリエーションを充実させるため、利用者と一緒に職員も参加し個々の状態に合わせた支援を行った。
- ・おやつ作りや小物作りなど、新しいレクリエーションを取り入れマンネリ化の防止を行った。また、小物作りなどは地域の方にも参加を促した。
- ・送迎時間を利用し、家族と話す時間を作り日々の様子をお伝えした。また、活動写真を渡すことでより詳細な様子を家族に伝えることが出来た。

④ 地域とのつながり

- ・毎月行われているチームオレンジには、職員と一緒に利用者も参加し地域の方々との交流を行った。
- ・運営推進会議に相談員が参加し、地域の方と接する機会を増やした。会議で出た意見を取り入れたり、かしまのレクリエーションへの参加を促した。
- ・愛媛大学及び聖カタリナ大学生各 1 名の介護等体験実習、北条南中学生 3 名の職場体験学習の受け入れを行った。
- ・河原医療福祉専門学校 1 名のボランティアの受け入れを行った。

⑤ 事故・高齢者虐待防止法

- ・虐待については毎年行っている虐待の芽チェックリストの振り返りを職員会で言い、意見を出し合った。
- ・ヒヤリハットに関して、その日の終礼にて話し合いを行い改善に取り組んだ。
- ・事故報告に関して、毎月集計を行い、職員会にて振り返り改善策を話し合った。

【課題・問題点】

- ・新規利用者は獲得しているが、利用終了者もあり、登録数が伸びていない。
- ・外部への営業活動が出来ず、新規居宅からの紹介が少ない。
- ・利用者への声掛け（言葉）が適切ではない場面があった。
- ・利用者の在住地域が北条内で収まってしまっており、利用提供範囲が狭い。
- ・精神的・身体的に高い技術を求められる利用者への対応力向上が必要。
- ・外部研修後のフィードバックが出来ていない事があった。
- ・申し送りノートの確認が不十分で、情報が共有できていない場面があった。
- ・全体でのレクリエーションは進んでいるが、個々の活動支援が出来ていない。
- ・ヒヤリハットは即時改善に取り組んでいるが、記録が残されていない。

【改善策について】

① 収益の改善

- ・北条内にとどまらないよう、外部へのアプローチ範囲を広げる。
- ・相談に対し早急に対応ができるよう、曜日ごとの空き状況・送迎や入浴の動きを常に最新の情報をまとめる。

② 人材育成と確保

- ・内部研修は継続、外部研修の計画を立て職員個々に必要な研修への参加を進める。
- ・個人面談を行い、職員の状態を把握したうえで意欲向上、スキルアップに繋げる。

③ サービスの質の向上

- ・家族との関わりを増やし、利用者や家族のニーズをしっかりと聞き出す。
- ・本人に必要な支援が行えるよう、一人ひとりの支援を見直す。
- ・担当ケアマネとの関わりを強化し、利用者へのサービス提供をより良くする。

④ 地域とのつながり

- ・運営推進会議やチームオレンジへの参加で地域の方々との関わりを増やし、かしまでの活動へ繋げる。

⑤ 事故・高齢者虐待防止

- ・事業所内だけでなく、送迎中や自宅でのリスクを把握する。
- ・不適切な声掛けや対応は早急な対応を行う。
- ・虐待の芽チェックリストを活用する。

1. 令和6年度実績報告

【取組内容】

① 収益の改善

- ・ R6 年度 3 月時点で登録利用者数 20 名、年間通して稼働率 56.9%、稼働率前年比 116%、収入として 410 万の増収となり、数字は延びている。
- ・ 包括支援センターからの紹介が多くあり、登録者数を増やすことができた。

相談 44 件数 内ご利用開始 17 件

相談依頼先 包括北条 16 件・北条病院 2 件・福角病院連携室 3 件・その他病院 2 件

自事業所内 10 件（内ウイング 5 件）・外部居宅介護支援事業所 11 件

② 人材育成と確保

- ・ 中途採用職員（パート）1 名は他事業所小規模多機能での勤務経験があり、スムーズに利用者支援が行えた。レクリエーション活動など先頭を切って実施するので、他の職員に良い刺激になり、事業所内が活気付いた。

③ サービスの質の向上

- ・ 「連泊」「連日通い」での支援を行うのではなく、利用者の状況に合わせ、「訪問」を多く支援計画に取り入れた。利用者・家族が望む在宅生活を送れるよう、必要な支援を考え、実施することができた。
- ・ 「訪問」では服薬確認や配食、買い物など、短時間ではあるが生活援助を行った。
- ・ 引き続き「連泊」での利用者はいるが、本人・家族と話し合いを行い、サービス内容の変更や施設入所の提案を行った。
- ・ 「通い」では個別で行える卓上で取り組むレクリエーション活動や、集団活動の体操やカラオケなどを行い、利用者が手持無沙汰な時間ができないよう、工夫を行った。利用者と一緒に過ごし、関わりを増やすことで活気付いた。

④ 地域とのつながり

- ・ チームオレンジへの参加や、運営推進会議を行った。会議資料では日々のご様子が伝わるように写真を活用し、文章で活動内容の報告を行った。
- ・ 外部評価を行い、評価して頂いた方々の意見を参考に、改善策を考え実施した。
- ・ 北条南中職場体験や高校生のボランティア活動の受け入れを行った。

⑤ 事故・高齢者虐待防止

- ・ 利用者の家族とともに現状の身体的・精神的状況を把握し、リスクを予測しながら支援を行った。
- ・ スピーチロックや言葉による虐待に近い言動をとる職員がいた場合、できる限りその時に注意をし、なぜそうなったのか、今後どうすべきかを話し合った。

【課題・問題点】

- ・増収にはなっているが、上半期思うように伸びず目標には至らなかった。
- ・利用者や家族との話し合いが進まず、自宅へ帰ることが出来ず連泊になっている方がいる。
- ・訪問において、短時間のサービス提供が中心となり、自宅での時間をかけた生活援助が行えていない。
- ・利用者の在住している地域での活動が出来ていない。
- ・転倒による骨折、入院の事故が起こった。

【改善策について】

① 収益の改善

- ・城北地区の拠点病院への営業活動を行う。
- ・利用者紹介先に対し、受け入れることだけでなく、その後のご利用状況を踏まえどのような支援を行っているか伝えていく。
- ・包括支援センターや居宅支援事業所への営業活動を行い、現状のサービスでは支援が難しくなった方などを紹介していただけるようにする。

② 人材育成と確保

- ・個人目標の内容を具体的にすることで、行動内容を実行し、振り返って評価しやすくすることで、職員の仕事への意識やスキルアップに対する意識向上につなげる。
- ・個人面談を行い、日々コミュニケーションをとることで、職員の身体的・精神的状態を知る。

③ サービスの質の向上

- ・家族にも協力してもらい、生活している地域の行事に参加する。
- ・運営推進会議や外部評価で参加者からいただいた意見は職員会で共有し、改善点や具体策を考え実施し、運営推進会議で報告する。
- ・法人行事参加やボランティア受け入れをし、利用者が楽しめる活動を計画する。
- ・他事業所の見学や小規模多機能事業の研修会に参加する。
- ・日々の変化や支援について職員間で話し合い、今の利用者支援とこれからの支援を考えられるようにする。改善点はできるだけ早々に家族へ報告し、支援方法の改善や変更を行う。

④ 地域とのつながり

- ・チームオレンジへ高縄団地の方と一緒に利用者・職員も参加し、地域の方々と交流する。
- ・運営推進会議では日々のご様子や活動内容をわかりやすく伝えることで、外部評価につながるようにする。

⑤ 事故・高齢者虐待防止

- ・転倒事故などのリスク把握を行い、職員間だけでなく、家族とも共有する。
- ・ヒヤリハット報告書を作成し、改善策を話し合い、行動に移す。
- ・職員の不適切な声掛けや支援は、気づいた時点で早急な対応を取る。
- ・「虐待の芽チェックリスト」を活用し、客観的に分析する。

1. 令和 6 年度実績報告

【取組内容】

① 収益の改善

- ・ 令和 6 年 12 月末までで、稼働率 53%、収入における前年比 95.4%であった。
- ・ 主任介護支援専門員不在の為、3 月末で休止。12 月より他居宅事業所へ利用者移行開始した。2 月末にて全ての利用者の移行完了した。
- ・ デイサービスかしまでは、担当利用者が月平均 11 名利用し、連動率は 76.3%であった。
- ・ 新規利用者は、要介護 4 名、要支援(予防)1 名であった。風早の家事業所への新規利用者紹介として、かしまへ 2 名、にじいろへ 2 名、すぼきへ 2 名移行した。

② 人材育成と確保

- ・ 月に 1 回、「風早の家ケアマネ研修」として、ウィング、特養、にじいろのケアマネ 3 名、相談員 1 名の計 4 名が集まり、知識や技術向上を行った。
- ・ 包括支援センター主催の研修やオンライン研修受講。

③ サービスの質の向上

- ・ 地域包括支援センター主催の事業所連絡会やケアマネスキルアップ研修、介護支援専門員向け研修会や成年後見制度、オンライン開催のケアプラン研修会、難病研修会、ヤングケアラー研修会等外部の専門的な研修に参加し、サービスの質の向上を行った。
- ・ 事業所の休止が決定していたため、新規利用者の相談があれば理由を説明し、他事業所に繋いだ。

④ 地域とのつながり

- ・ 地域包括支援センター北条が計画している高縄団地「チームオレンジ」の一員として参加し、地域との連携、協力を行った。
- ・ 地域包括支援センター北条主催の事業所連絡会(月 1 回)や介護者家族の会(年 2 回)、民生委員との集い(年 1 回)に参加し、協力を行った。

⑤ 事故・高齢者虐待防止

- ・ 地域で生活している高齢者が安心して生活していけるよう、その家族や事業所との関わりの中で高齢者の生活状況や日頃の様子を把握するよう、訪問や電話連絡を行った。
- ・ 施設内研修で事故虐待防止に取り組んだ。

【課題・問題点】

- ・ 利用者人数に関して、新規利用者の依頼はあったが、入院や入所により終了することも多く、担当人数の増減は少なかった。
- ・ 令和 6 年度は、相談開始後に入院や施設入所、死亡となることが多く、サービス利用に至らなかったケースがあった。

【担当利用者の移行状況】

- ・ 居宅ウイングが担当していた利用者数は 37 名(要支援…20 名、要介護…17 名)
- ・ 12 月末までに要支援 5 名を（包括北条 4 名、悠遊社 1 名）移行。
要介護 3 名を（シルバー1 名、悠遊社 1 名、AWC1 名）移行
- ・ 1 月末までに要支援 5 名を（包括北条 5 名）移行。
要介護 3 名を（おひさま 1 名、小規模にじいろ 2 名）移行
- ・ 2 月末までに要支援 10 名を（包括北条 10 名）移行。
要介護 11 名を（たいよう 3 名、悠遊社 1 名、セントケア 1 名、海辺の郷 3 名、シルバー2 名、AWC1 名）移行。
- ・ 2 月末には全ての利用者を問題なく移行することができた。

【利用者数及び稼働率】（月別）

月別利用状況		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度平均
事業所名 (定員)	暦日	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	
	(ﾏｲ)営業日	25	27	26	26	27	26	26	26	24	24	24	26	
風早の家 (29名)	延べ利用者数	856	881	840	834	837	810	837	829	818	808	731	870	829
	1日平均	28.5	28.4	28	26.9	27	27	27	27.6	26.4	26.1	26.1	28.1	27.3
	稼働率(%)	98.4	98	96.6	92.8	93.1	93.1	93.1	95.3	91	89.9	90.0	96.8	94
	前年実績(%)	97.9	99.2	100	100	100	93.4	96.7	96.6	93.1	96.3	99.5	95	97.3
ショートステイ すぼき (9名)	延べ利用者数	158	219	161	175	236	260	237	217	213	286	261	230	221
	1日平均	5.3	7.1	5.4	5.6	7.6	8.7	7.6	7.2	6.9	9.2	9.3	7.4	7.3
	稼働率(%)	58.5	78.5	59.6	62.7	84.6	96.3	84.9	80.4	76.3	102.5	103.6	82.4	80.8
	前年実績(%)	81.1	79.2	78.5	83.2	76.3	70.7	86.7	63	78.5	62.4	71.6	59.5	74.3
デイサービス かしま (18名)	延べ利用者数	326	335	344	383	345	316	350	323	307	311	309	329	331.5
	1日平均	12.5	12.4	13.8	14.2	12.8	12.6	13	12.4	12.8	13	12.9	12.7	12.9
	稼働率(%)	69.7	68.9	76.4	78.8	71	70.2	72	69	71.1	72	71.5	70.3	71.8
	前年実績(%)	76.2	79.2	75.2	71.6	72.8	70.1	67.5	80.6	80.1	81.5	78.9	68.2	75.1
小規模多機能 にじいろ (29名)	登録人数	15	16	16	14	18	14	15	17	16	18	19	20	16.5
	稼働率(%)	51.7	55.2	55.2	48.3	62.1	48.3	51.7	58.6	55.2	62.1	65.5	69	56.9
	前年実績(%)	37.9	37.9	41.4	37.9	44.8	55.2	55.2	55.2	48.3	55.2	58.6	58.6	48.9
居宅 ウィング (80名/人)	利用者数	14	19	18	17	16	15	15	17	16	14	11		16
	(要支援)	7	7.3	10.5	11.5	10.5	10	95	10	10	7.5	7.5		10.2
	稼働率(%) (予防0.5)	60	75.2	81.4	81.4	75.7	71.4	70	77.1	74.3	61.4	52.9		70.9

【利用者の状況】（令和 7 年 3 月末現在）

（特別養護老人ホーム 風早の家）

	65 歳 未 満	65～ 69 歳	70～ 74 歳	75～ 79 歳	80～ 84 歳	85～ 89 歳	90～ 94 歳	95～ 99 歳	100 歳 以 上	計
要介護 3					2	3	1	1	1	8
要介護 4				2	2	4	5	1		14
要介護 5		1	1	2	1		1			6
計		1	1	4	5	7	7	2	1	28

（デイサービスかしま）

	65 歳 未 満	65～ 69 歳	70～ 74 歳	75～ 79 歳	80～ 84 歳	85～ 89 歳	90～ 94 歳	95～ 99 歳	100 歳 以 上	計
要支援 1					2	5	1			8
要支援 2				1	2	3	2			8
要介護 1				2		5	3	1		11
要介護 2					1	2		1		4
要介護 3							1			1
要介護 4					1	1				2
要介護 5										
計				3	6	16	7	2		34

（小規模多機能にじいろ）

	65 歳 未 満	65～ 69 歳	70～ 74 歳	75～ 79 歳	80～ 84 歳	85～ 89 歳	90～ 94 歳	95～ 99 歳	100 歳 以 上	計
要支援 1					1					1
要支援 2					1	1		1		3
要介護 1			2		1	2	2			7
要介護 2					1	1	2	1		5
要介護 3						2	1			3
要介護 4							1			1
要介護 5										
計			2		4	6	6	2		20

（居宅介護支援事業所 ウィング）

	65 歳 未 満	65～ 69 歳	70～ 74 歳	75～ 79 歳	80～ 84 歳	85～ 89 歳	90～ 94 歳	95～ 99 歳	100 歳 以 上	計
要支援 1										0
要支援 2										0
要介護 1										0
要介護 2										0
要介護 3										0
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※休止の為、令和 7 年 3 月末時点での登録なし

【職員の状況】（令和7年3月末現在）

事業所	職名	人数		資格・兼務
		常勤	非常勤	
特別養護老人ホーム風早の家 ショートステイすばき	施設長	1(1)		(管理者兼務)
	管理者(SS)	1(1)		
	介護支援専門員	1		介護支援専門員
	相談員	1		社会福祉士
	看護職員	1(1)		准看護師 (機能訓練指導員兼務)
	機能訓練指導員	1(1)		
	管理栄養士	1		管理栄養士
	介護職員	20	5	介護福祉士 (10)
	運転手		1	
	宿直		3	
デイサービス かしま	管理者	1		
	看護職員	1(1)	1(1)	准看護師(機能訓練指導員兼務)
	機能訓練指導員	1(1)	1(1)	(看護職員兼務)
	相談員	2(2)		介護福祉士 (2) (介護職員兼務)
	介護職員	3(2)	2	介護福祉士 (4)
	運転手		2	
小規模多機能 にじいろ	管理者	1(1)		(施設長 兼務)
	介護支援専門員	1		介護支援専門員・介護福祉士
	看護師	1		正看護師
	介護職員	4	5(1)	介護福祉士 (6)
	運転手		1(1)	(介護職員兼務)
ウィング	管理者	1(1)		介護支援専門員 兼務
	介護支援専門員	1(1)		(管理者兼務)
	事務員	2		
	調理員	4	5	調理師 (1)
	清掃		2	
合計		43	27	
		70		

3. 各種委員会

委員会名	開催実績	
感染防止 褥瘡対策	6/13	今年度の活動計画・目標設定
	8/8	コロナ・インフルエンザについて
	12/12	事業所の現状（感染・褥瘡）と対策について
	3/13	今年度の振り返り・次年度の課題について
事故防止	6/13	年間計画・目標設定
	9/14	事故ヒヤリ集計・ほのぼのの入力について
	3/13	今年度の振り返り・次年度の課題について
身体拘束適正化 虐待防止	6/13	年間計画・目標設定
	7/11	事業所の現状と対策について
	9/14	事業所の現状・虐待の芽チェックリストシート集計
	11/14	事業所の現状と対策について
	3/13	今年度の振り返り・次年度の課題について
給食	4/10	今年度の活動計画・配膳について
	7/17	食事（食材・ムース）について
	10/18	食事（食種・衛生面）について・上半期を通して
	1/8	食事・検食簿について
研修	4/26	今年度の活動計画
	3/6	今年度の振り返り
苦情対策	4/19	今年度の活動計画
	10/17	苦情受付、報告書・「満足度調査」の集計と有効利用について
	1/28	苦情受付情報共有・満足度調査結果について
	3/17	今年度の振り返りと来年度の方向性について
行事	5/17	年間目標の設定・年間行事・伊台ホテルまつりについて
	6/14	福祉交流会について
	7/12	福祉交流会・秋祭りについて
	8/8	敬老会・愛媛プロレス・秋祭りについて
	9/6	秋祭りについて
	10/11	地方祭について
	11/9	餅つきについて
広報	6/13	今年度の活動計画・今年度の「ほのぼの新聞」発行・ブログについて
	12/16	「ほのぼの新聞」新年号・春号の発行について
入所判定	4/11・7/18・11/19・2/21	

4. 職員研修(事業所内)

実施月	研修名	場 所
R6. 4 月	接遇について オムツについて	各事業所職員会にて開催
R6. 5 月	身体拘束について①	
R6. 6 月	感染症について①	
R6. 7 月	認知症について①	
R6. 7 月	愛媛大学医学部附属病院 「感染症」	
R6. 8 月	褥瘡について①	
R6. 9 月	事故防止①	
R6.10 月	虐待について①	
R6.11 月	感染症について②	
R6.12 月	身体拘束について②	
R7. 1 月	褥瘡について②	
R7. 2 月	虐待について②	
R7. 3 月	事故防止について②	

職員研修（外部研修）

実施月	研修名	参加者
R6.4.5	ふつうのお風呂に入るための入浴介助方法	1名
R6.5.11～	介護支援専門員専門（更新）研修	1名
R6.5.23	副安全運転管理者講習	1名
R6.6.11～	ユニットリーダー研修	1名
R6.6.5	年齢に負けない丈夫な骨作り	1名
R6.6.19	腸内環境を整える食事の工夫	1名
R6.6.22	高齢者の異常発見の観察ポイント	1名
R6.6.29	誤嚥性肺炎 今日からできる予防	1名
R6.7.4・5	安全衛生推進者講習	1名
R6.8.23	認知症の人のためのレクリエーション	1名
R6.8.29	防火管理者研修	2名
R6.10.5	技能実習指導員研修	1名
R6.10.16	裁判側から学ぶ介護事故対応	1名
R6.10.22	健康寿命のための生活習慣	2名
R6.10.30	ノーリフティングケア	1名
R6.11.6	排泄ケア	1名
R6.11.18	介護現場のターミナルケア	2名
R6.11.27	事例で考える 成年後見制度利用支援	2名
R6.12.8	車椅子に快適に座るコツ～車椅子のシューティング～	1名
R6.12.15	AI(人工知能)に負けない介護	1名
R6.12.24	自律神経と認知症の関係	1名
R7.1.13	こんなときどうする？介護でキレないための秘訣	1名
R7.1.22	ケアプラン研修	2名
R7.2.13	ヤングケアラーの早期発見と多職種の必要性	1名
R7.3.23	高齢者への食支援 ～食事介助と口腔ケア基本～	1名

職員研修(法人内)

実施月日	研修名	場 所
R6. 4. 2・3	新人職員研修	かなさんどう
R6. 8. 29	アロマテラピー	かなさんどう
R6. 11. 20	腸からできる認知症対策	かなさんどう
R7. 2. 3	田中エリナ講演 「プロレスラーの成長ストーリーから学ぶ仕事の楽しみ」	かなさんどう
R7. 3. 5	砂田真希講演「補助犬」	かなさんどう

5. 行事・地域交流

(1) 行事

月	内容	月	内容
6 月	いだいホテル祭り	11 月	栗井公民館文化祭・若草福祉まつり
7 月	福祉施設交流会	12 月	クリスマス会・餅つき
9 月	敬老会（事業所内）・法人秋祭り第1弾	1 月	初詣
10 月	北条秋祭り・法人秋祭り	2 月	節分（事業所内）・愛媛マラソン

(特養風早の家・ショートステイすぼき) 各ユニットでの誕生日会・レクリエーション、少人数でのドライブ
(小規模多機能にじいろ) ドライブ・レクリエーション・お花見・事業所内でのおやつ作り

(2) 危機管理

時期（月日）	内容	参加者
6 月 28 日	避難訓練 消火訓練 昼間想定	利用者・職員・消防職員
11 月 30 日	菟木地区合同防災訓練（勉強会）	地域の方・職員
2 月 14 日	避難訓練 消火訓練 夜間想定	利用者・職員・消防職員

(3) 地域交流

時期（月日）	内容	参加者
4 月 28 日	菟木地区清掃	職員 4 名
9 月 22 日	菟木地区清掃（雨天中止）	

(4) ボランティア受入れ

・ハーモニカ演奏 ・尺八演奏 ・歌のボランティア ・足湯マッサージ

(5) 実習生（介護現場ボランティア）受入れ

時期（月日）	実習申込先	内容
6 月 3 日～ 14 日	北条高校	福祉現場実習 3 年生 2 名
7 月 2 日～ 5 日	愛媛大学（教職課程）	介護体験 3 年生 1 名
9 月 5 日～ 6 日	北条南中学校	職場体験学習 2 年生 3 名
10 月 7 日～ 10 日	聖カタリナ大学（教職課程）	介護体験 3 年生 1 名
10 月 15 日～ 25 日	北条高校	福祉現場実習 3 年生 2 名
11 月 5 日～ 15 日	北条高校	福祉現場実習 2 年生 1 名
12 月 30 日～ 3 日	新田高校	介護現場ボランティア 1 年生 1 名
3 月 17 日～ 19 日	河原医療福祉専門学校	介護現場ボランティア 2 年生 1 名

6. ヒヤリハットについて

①	生活面（生活環境面等） （特養・ショート） （かしま） （にじいろ）	5 件 4 件 0 件 1 件
②	介護面（介助時・見守り時等） （特養・ショート） （かしま） （にじいろ）	53 件 44 件 5 件 4 件
③	医療面（服薬時・ハルシバグ使用時等） （特養・ショート） （かしま） （にじいろ）	9 件 5 件 0 件 4 件
④	その他（上記以外で利用者に関すること） （特養・ショート） （かしま） （にじいろ）	60 件 45 件 2 件 13 件

7. 事故報告について

①	転倒・転落 （特養・ショート） （かしま） （にじいろ）	38 件 25 件 3 件 10 件
②	誤嚥・異食等 （特養・ショート） （かしま） （にじいろ）	0 件 0 件 0 件 0 件
③	誤薬（服薬時間違い・飲み忘れ） （特養・ショート） （かしま） （にじいろ）	5 件 3 件 0 件 2 件
④	外傷（表皮剥離・皮下出血・打撲等） （特養・ショート） （かしま） （にじいろ）	41 件 36 件 0 件 5 件
⑤	居所不明 （特養・ショート） （かしま） （にじいろ）	3 件 0 件 1 件 2 件
⑥	その他（介護面・医療面） （特養・ショート） （かしま） （にじいろ）	3 件 1 件 1 件 1 件

8. 苦情報告について

①	職員の対応（行動・態度・言動等） （特養・ショート） （かしま） （にじいろ）	4 件 1 件 0 件 3 件
②	その他（環境・整理整頓等） （特養・ショート） （かしま） （にじいろ）	0 件 0 件 0 件 0 件

グループホーム いだい 事業報告書

1. 施設概要

- | | |
|-----------------|------------------|
| (1) 所在地 | 松山市下伊台 1382 番地 1 |
| (2) 施設種別・事業（定員） | グループホーム いだい 18 名 |
| (3) 事業開始年月日 | 平成 26 年 1 月 18 日 |

2. 令和 6 年度実績報告

【取組内容】

① 収益の改善

- ・稼働率 92.8% 稼働率前年比 101.4%
- ・4 月に 1 名入居し、入れ替わりはあるが 9 月末まで満床を維持した。
- ・8 月より長期入院が 2 名出ているため、稼働率が下がる時期もあったが、収入前年比は 102%、収入で 230 万円と増加しており、予算達成率は 100%となっている。
- ・年間通して 4 名の入居、4 名の退居となった。
- ・ベテル病院地域連携室、地域包括道後より利用者紹介を頂いており、挨拶に伺うなど、相談員との関係作りに取り組んだ。
- ・運営推進会議を利用し、空床状況や活動内容など情報発信を行った。

② 人材育成と確保

- ・R6 年度事業計画を整理し、目標と行動計画の設定を行った。
- ・事業計画を基に、職員個々で個人目標、行動計画の設定を行った。
- ・人間環境大学の介護演習生 1 名の受け入れを行った。
- ・毎月 1 回（第 4 火曜日 18 時から）研修会を行った。
- ・事業計画やケアプランを理解し支援にあたる事が出来る様に個人目標を設定した。
- ・夜勤専門職 1 名の雇用を行った。

③ サービスの質の向上

- ・各利用者の担当職員が毎月末に支援についてプランチェックを基に振り返り、プランに沿った支援ができているかどうかユニット会で話し合った。
- ・栄養士と連携し、利用者の栄養状態と健康の管理を行った。
- ・利用者の体調の変化に早く気づき早期対応が出来る様に訪問看護と連携を図った。
- ・旬の食材を使用した炊き込みご飯や混ぜご飯、季節ごとの果物を提供した。
- ・施設内外でのイベントに家族に来てもらえるように、手紙を出したり、声掛けを行った。
- ・駐車場に畑を作り、出来た野菜を利用者と一緒に収穫し調理して食べる事が出来た。
- ・不定期ではあるが、ハーモニカ演奏や歌の会を行い楽しむことができた。

④ 地域とのつながり

- ・2 ヶ月に 1 回運営推進会議を開催し、地域、家族、事業所と馴染みの関係を築けるよう努めた。
- ・地域で行われる行事（6 月ほたる祭り、8 月盆踊り）に利用者と共に参加し、地域との関係性を深めた。
- ・12 月の運営推進会議で餅つきを行い、利用者、家族、地域、事業所の方と共に楽しむ事が出来た。

⑤ 事故・高齢者虐待防止法

- ・ヒヤリハットは毎日の日誌に記載し、都度改善策を検討。事故防止に努めた。
- ・事故報告書が提出された際には、具体的な改善策を話し合い、スタッフルームへ掲示。見える化を行い職員間で情報共有し、再発防止に努めた。

【課題・問題点】

- ・いだい以外での研修に参加出来ていない。
- ・個人目標を設定したが、進捗状況についての面談が出来ていない。
- ・利用者、家族からのニーズの聞き取りを行えていない。
- ・行事ごとについて、家族へ参加の促しは行っているが、参加者が少ない。
- ・地域の行事以外での地域の方々との関わりが持てていない。
- ・職員の介護技術に差がある。
- ・利用者一人一人のしたい事や、行きたい場所へ行くことの機会を作ることが出来ていない。
- ・ヒヤリハットへの意識が低く、記録として残っている数が少ない。

【改善策について】

① 収益の改善

- ・風早の家ケアマネ及び相談員と協力し、居宅・地域包括・地域連携室への営業を行う。
- ・定期的に設備のメンテナンスを行い、修理、買い替えを少なくし、長期利用出来るようにする。
- ・備品消耗品等に関しては、価格変動の情報を取り入れて、価格と製品の質を比較し、より良い備品の購入を検討する。

② 人材育成と確保

- ・いだい以外での研修に参加出来る様にシフト調整する。
- ・毎月末に個人目標の進捗状況について管理者と面談しアドバイスする。

③ サービスの質の向上

- ・利用者、家族からニーズの聞き取りを行う。
- ・家族にイベントに参加してもらえるように手紙だけでなく、電話や面会時にも声掛けをする。

④ 地域とのつながり

- ・天気の良い日には、散歩したり、近くの商店に買い物に行くなどし、地域の方と関わりを持つようにする。

⑤ 事故・高齢者虐待防止

- ・いだい内でも身体拘束適正化や高齢者虐待防止について話し合いを行い、風早の家の委員会に参加する。

【利用者数及び稼働率】（月別）

月別利用状況		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度平均
グループホーム いだい (18名)	延べ利用者数	520	531	527	543	499	480	492	510	495	498	492	527	509.5
	1日平均	17.3	17.1	17.5	17.5	16	16	15.8	17	15.9	16	16.9	17	16.7
	稼働率(%)	96.3	95.2	97.6	97.3	89.4	88.9	88.2	94.4	88.7	89.2	94.3	94.4	92.8
	前年実績(%)	89.6	88.9	88.9	94.4	95.3	94.4	94.4	95.9	88.9	93.5	92.3	94.4	91.8

【利用者の状況】（令和7年3月末現在）

	65歳未満	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95～99歳	100歳以上	計
要支援2		1								1
要介護1				1	1		2	1		5
要介護2					1	2				3
要介護3				1	1		1			3
要介護4		2					1	1		4
要介護5							1			1
計	0	3	0	2	3	2	5	2	0	17

【職員の状況】（令和7年3月末現在）

事業所	職名	人数		資格
		常勤	非常勤	
グループホーム いだい	管理者	2(2)		(介護職員兼務)
	計画作成	1		介護支援専門員
	介護職員	7(2)	8	(管理者兼務)
合計		8	8	
		16		

3. 各種委員会

委員会名	開催実績
身体拘束適正化委員会	3カ月に1回開催（ユニット会）
事故防止委員会	6カ月に1回開催（ユニット会）
感染対策委員会	3カ月に1回開催（ユニット会）
虐待防止委員会	3カ月に1回開催（ユニット会）

※避難訓練（通報・消火・避難） 年2回実施

4. 行事・研修・地域交流・ボランティア

(1) 行事

月	内容	月	内容
4 月	お花見	10 月	法人秋祭り・どれみ保育園ハロウィン
5 月	端午の節句	11 月	歌のボランティア
6 月	さつま芋苗植え	12 月	どれみ保育園クリスマス会・餅つき
7 月	七夕	1 月	カラオケ大会
8 月	うちみや保育園残暑見舞い	2 月	歌のボランティア
9 月	敬老会・お菓子作り・芋ほり	3 月	お花見

※ハーモニカ演奏（定期開催） 歌のボランティア（不定期開催）

(2) 研修

時期（月日）	内容	参加者
R6. 5. 29	タブレット研修	15 名
R6. 6. 25	食事ケア時の感染対策	職員会にて実施
R6. 7. 23	認知症の徘徊を見つけたら？	職員会にて実施
R6. 7. 4・5	安全衛生推進者講習	1 名
R6. 8. 27	介護職員のための高齢者虐待防止	職員会にて実施
R6. 8. 29	防火管理者研修	1 名
R6. 10. 22	介護・福祉施設職員のための倫理及び法令遵守	職員会にて実施
R6. 12. 24	【事例検討】介護事故防止	職員会にて実施
R7. 1. 28	身体拘束を簡単に説明する！	職員会にて実施
R7. 2. 25	非常災害時の対応	職員会にて実施
R7. 3. 26	平時から実践する感染症対策の基本	職員会にて実施

(3) 地域交流

時期（月日）	内容	参加者
6 月	伊台川ホタル祭り	利用者・職員・家族
8 月	伊台地区盆踊り大会	利用者・職員・家族
9 月	敬老会	中止（記念品）
10 月	地方祭（お神輿・獅子舞）	客王大神輿会・地域子供会・利用者・職員
11 月	交流学习	伊台小学校 3 年生・教員・利用者・職員
11 月	亥の子	地域子供会・利用者・職員
12 月	餅つき	利用者・職員・家族・地域住民・他事業所職員

(4) 実習生受入れ

時期（月日）	実習申込先	内容
6 月 10・13 日	人間環境大学認知症看護選択コース	認知症看護学外演習（学生 1 名）

5. ヒヤリハットについて

①	生活面（生活環境面等）	6 件
②	介護面（介助時・見守り時等）	10 件
③	医療面（服薬時等）	8 件

6. 事故報告について

①	転倒・転落	28 件
②	誤嚥・異食等	1 件
③	誤薬（飲み忘れ）	20 件
④	外傷（表皮剥離・皮下出血・打撲等）	16 件
⑤	その他	3 件

令和 7 年 6 月 10 日

令和 6 年度 社会福祉法人 泰斗福祉会
保育部門 3 園事業報告書

1. 施設概要

・うちみや保育園

- (1) 所在地 松山市内宮町甲 15 番 6
- (2) 施設種別・事業（定員） 小規模保育所（定員 19 名）
- (3) 事業開始 平成 28 年 4 月 1 日

・どれみ保育園

- (1) 所在地 松山市平井町甲 3282 番 1
- (2) 施設種別・事業（定員） 小規模保育所（定員 19 名）
- (3) 事業開始 平成 29 年 4 月 1 日

・もりもりキッズ

- (1) 所在地 松山市苞木甲 200 番地
- (2) 施設種別・事業（定員） 事業所内保育所（定員 19 名）
- (3) 事業開始年月日 平成 30 年 4 月 1 日

2. 令和 6 年度実績報告

【取組内容】

① 収益の改善

a. 園児の獲得および加算の獲得について

○うちみや保育園

- ・年度初め 3 ヶ月間、0 歳児クラスの園児が 0 というスタートで保育士の手が余る状態であったが、7 月から 0 歳児クラスの園児が増え始め、年度終わりには 7 名になり、職員定数ギリギリになる状態であった。
- ・1.2 歳児クラスは安定した園児数で通年過ごせた。
- ・令和 6 年度は保育体制強化事業のスポット支援の申請ができ、ほぼ満額の補助金がありたため非常勤の人件費の足しになった。
- ・支出については儉約に努めたが、安全管理の観点からは削減できない備品の修理や点検、買い替えなどの出費も多かった。
- ・余裕活用型一時保育は、年度前半はまずまず受け入れ、収益は上がったが後半は問い合わせはあるが定員に余裕がない状態で、受け入れが難しかった。

○どれみ保育園

- ・令和 6 年度、4 月当初は定員の 19 名をクリアーしてスタートする。9 月には 1・2 歳児 17 名 0 歳児 5 名、計 22 名のマックスとなり収入も落ち着いてきた。
- ・一時預かり保育も、4 月こそ月の延べ利用人数が 78 名であったが、その後は目標の月延べ人数 100 名以上の目標を達成することが出来た。一時預かり保育においては次年度の入園対象園児の確保と言う意味に於いて受け入れ態勢には十分配慮しながら次年度の見通しを図っている。

- ・今年度は、一時預かり保育室の改善を行い、より使用しやすい安全な保育室を確保するため出費も多かったが、一時預かり保育事業負担金の範囲内で支払うことが出来た。
- ・人件費、教材費、光熱費、その他まだまだ節約可能箇所は見受けられるが、ある程度園児・職員が楽しくて、安全で、安らげる保育園にするためには、収入・支出のバランスを配慮しながら運営していかななくてはならないと思う。
- ・補助事業においては、保育の人数配分を配慮し、満額いただけるように考慮した。

○もりもりキッズ

・令和6年度、4月当初は、12名でその上0歳児0名という厳しいスタートであった。園の認知度を上げ、地域の子育て支援の場として、月1回の「もりもり広場」を開いたが、直接的には園児獲得には至らず12月になり、ようやく定員に達した。令和5年度より取り入れた余裕活用型一時保育は、申込者は増えてきてはいるものの職員の調整や人数の調整などで希望に添えない事もあった。支出については、削減に努めたものの、最低賃金が上がり人事院勧告で処遇改善費の払い出しもあり、人件費が大幅に上昇した。また、備品のメンテナンス・修理・テントの買い替えなど予定外の支出もあった。

b. 補助金の獲得について

- ・補助事業負担金として、3園共に、加配保育士事業・一時保育事業・オムツ処分事業負担金を、また、どれみ保育園ともりもりキッズは、延長保育事業補助金を頂いた。
- ・その他では、3園で栄養管理加算を、どれみ保育園とうちみや保育園で施設機能強化推進加算を頂いた。

【参考資料 補助事業負担金】

	うちみや保育園	どれみ保育園	もりもりキッズ
延長保育事業	0円	600,000円	442,000円
加配保育士事業	2,487,352円	2,688,000円	1,771,694円
一時預かり事業	261,000円	3,321,000円	110,000円
使用済みおむつ処分事業	18,590円	29,180円	18,350円
合計	2,766,942円	6,638,180円	2,342,044円
3園合計	11,747,166円		

② 人材育成と確保

a. 人材確保

年度当初、うちみや保育園で新人1名の入職があったが、7月で退職。その後は、パート保育士で対応した。どれみ保育園では、パート保育士1名が産休に入った。もりもりキッズは、7月に産休1名、9月に正職保育士1名の病気による退職があった為パート保育士を1名正職にし、パート保育士を6月2名、7月1名、8月1名を採用し、保育定数を満たした。3園共に正職保育士が不足している状況である。うちみや保育園・もりもりキッズでは、保育士の負担軽減を目指し保育体制強化事業補助金を利用し、スポット保育士を雇用した。3月末で3園兼務の管理栄養士が退職する為、2月にはどれみ保育園に管理栄養士1名、3月にうちみや保育園ともりもりキッズ兼務の栄養士1名を雇用した。

b. 人材育成

- ・研修計画を作り、希望する研修や、必要と思われる研修に参加させた
- ・個人目標の設定や達成に向けて、丁寧に応じ、助言をした。
- ・また、次世代リーダーの育成に向けて、主任とリーダーは、セルフキャリアドッグ制度を利用して、ジョブカード作成しキャリアコンサルティングを行った。

③ 地域とのつながり

- ・3園共に、近隣の老人施設に出かけ交流をしたり、運動会や生活発表会に招待したりして交流を図った。また、散歩や園庭遊びで近隣の方々に、積極的に声かけや挨拶をするようにした。
- ・うちみや保育園では、園で収穫した野菜を近隣に届けた。また、どれみ保育園では、地域一般の方との交流が持て、菜の花畑や蓮華畑の開放などをしていただき子どもたちは楽しい体験遊びが出来た。

④ サービスの質の向上

- ・3園共に、ITC化により、保護者との連絡が円滑になった。連絡帳では、写真の貼り付けをする事で、実際の園での子供の様子を伝える事が出来、保護者にも喜ばれた。タブレットで日誌・指導計画を作成し、事務作業が省力化出来たことにより、子どもと向き合う時間も増え、自身の保育を見直す時間ができた。
- ・行事は、規制緩和により多くの人に楽しんでもらう事が出来た。

⑤ 事故防止・児童虐待防止

- ・3園共に、綿密な安全計画を立て、訓練を実施した。また、園内外の環境を整え、不注意による事故の無いように、朝礼や職員会でヒヤリハットを検証しながら事故防止に努めた。
- ・室内に監視カメラを設置し、事故の検証や保育の振り返りをした。(うちみや・どれみ保育園)
- ・児童虐待については、毎朝の視診を丁寧にし、小さな変化を見逃さないようにした。また、セルフチェックシートを利用し、不適切保育と言われるような行為が無いよう、風通しの良い職員関係を築き、職員の意識向上を図った。

【課題・問題点及び改善策】

① 収益の改善

- ・公定価格は少しずつ上がっては来ているが、人件費も上がってきており厳しい状況である。また、少子化も進み、4月当初に定員を確保する事が難しい。増収を目指すには、早期に0歳児を確保し定員を満たすこと、また、増収に繋がるよう、実施可能な補助事業取り入れていく事である。
- ・支出については、修理・買い替えを計画的に行う。また、物価高騰に対しては、光熱費・水道料金の節約、物品購入先の見直しをしていく。人件費は、できる限り補助金を使って削減する。

② 人材育成と確保

a. 人材確保

- ・3園共に正職員が、不足しており令和7年度には、2・3名を確保し負担軽減を目指す。
- ・令和6年度は、キッズガード・スポット保育士の雇用が十分ではなかったのも、令和7年度は人員を確保し正職保育士の負担軽減を目指す。

ｂ．人材育成

- ・ 外部研修に積極的に参加させ、スキルアップを図る。個人目標の設定や達成のための手立てを、共に考える。職員間のコミュニケーションを図り、職場環境を整える。園内研修や3園の研修の充実を図る。

③ サービスと質の向上

- ・ 園内研修を充実させ、保護者支援のスキルアップを図る。
- ・ 一人ひとりの発達に応じた指導計画を作成し、丁寧に子どもの成長を保護者に伝える。
- ・ ITC化により、職員の事務的な負担を減らし、子どもと向き合う時間を増やす。

【利用者数及び稼働率】（月別）

○うちみや保育園

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0歳児（定員5名）	0	0	0	2	3	5	6	6	6	6	6	7
1歳児（定員7名）	9	9	9	10	10	10	10	10	10	10	10	10
2歳児（定員7名）	8	8	8	6	6	6	6	6	6	5	5	5
合 計（19名）	17	17	17	18	19	21	22	22	22	21	21	22
稼働率	89%	89%	89%	95%	100%	111%	116%	116%	116%	116%	111%	116%
一時預かり保育 （余裕活用型） 延べ人数	31	38	35	21	15	5	3	2	2	2	3	3

一時預り保育_延べ人数合計：180名

○どれみ保育園（特定保育・定員19名）（一時預かり保育・定員5名）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0歳児（定員6名）	2	2	2	2	2	5	5	5	5	5	5	5
1歳児（定員6名）	7	7	8	9	9	8	8	8	8	8	8	8
2歳児（定員7名）	8	8	8	7	7	8	8	7	6	6	6	6
合 計（19名）	19	20	20	20	20	22	22	22	22	22	22	22
稼働率	100%	105%	105%	105%	105%	116%	116%	116%	116%	116%	116%	116%
一時預かり保育 実人数	12	12	14	16	16	19	20	21	17	19	20	19
一時預かり保育 延べ人数	78	103	104	104	90	111	116	103	107	107	103	109

一時預り保育_延べ人数合計：1,235名

○もりもりキッズ

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0歳児（定員6名）	0	1	2	2	2	2	2	3	5	6	7	7
1歳児（定員6名）	6	6	7	7	8	8	8	8	8	8	8	8
2歳児（定員7名）	6	6	6	6	7	7	7	7	7	7	7	8
合 計（19名）	12	13	15	15	17	17	17	18	20	21	22	21
稼働率	63%	68%	79%	79%	89%	89%	89%	95%	105%	110%	115%	115%
一時預かり保育 （余裕活用型） 延べ人数	2	4	5	10	12	19	24	24	4	0	0	0

一時預り保育_延べ人数合計：104名

【職員の状況】

○うちみや保育園

職名	人数		資格（人数）
	常勤	非常勤	
園長	1		保育士
保育リーダー	1		保育士
保育士	6	4	保育士（10）
調理師・調理員		2	調理師（2）管理栄養士（3園兼務）
合計	8	6	
	14		

○どれみ保育園

職名	人数		資格（人数）
	常勤	非常勤	
園長	1		保育士
主任・保育リーダー	2		保育士（2）
保育士・看護師	4	5	保育士（8）看護師（1）
栄養士		1	栄養士（1）管理栄養士（3園兼務）
調理師・調理員		3	調理師（1）・調理員（2）
合計	7	9	
	16		

○もりもりキッズ

職名	人数		資格（人数）
	常勤	非常勤	
園長	1		保育士

保育リーダー	1		保育士(1)
保育士	4	5	保育士(9)
管理栄養士	1		管理栄養士(3園兼務)
調理員		2	調理師(1) 調理員(1)
合計	7	7	
	14		

3. 各種委員会

委員会名	開催実績
研修委員会	7月・9月・11月・3月
行事委員会	4月・5月・6月・7月・9月・11月・12月・3月
広報委員会	4月・5月・6月・7月・8月・9月・10月・11月・12月・1月・2月・3月

4. 職員研修

<松山市研修>

発達支援実践研修	全保育士
新任保育士研修会	新任保育士(1～3年)
障がい児保育研修会	全保育士

<松山市保育会研修>

中堅保育士・保育教諭研修会	保育リーダー他
全体研修	全保育士
相互研修	全保育士
主任保育士・主幹保育教諭研修会	保育リーダー

<松山市私立保育園・認定こども園連合会研修>

給食担当者研修会	調理員、管理栄養士
0, 1, 2歳児研修会	全保育士
全体研修会	全職員
体育実技研修会	全保育士

<その他 研修>

乳幼児学習会	全保育士
園長研修	園長

<園内研修>

危機管理/感染症/研修報告	全保育士
---------------	------

5. 行事・地域交流・ボランティア

(1) 行事

○うちみや保育園

月	内容	月	内容
4 月	入園・進級お祝い	10 月	運動会・芋掘り・ハロウィン
5 月	夏野菜植え・じゃがいも掘り	11 月	内科検診・歯科検診・親子遠足
6 月	内科検診・歯科検診	12 月	クリスマス生活発表会
7 月	プール開き・夏祭り	1 月	お正月遊び
8 月		2 月	節分・お買い物ごっこ
9 月	敬老（地域交流）	3 月	ひなまつり・卒園式・修了式・お別れ遠足

* 毎月行事…ハッピーデー・避難訓練・誕生会・食育活動、交通安全指導

○どれみ保育園

月	内容	月	内容
4 月	入園式	10 月	運動会（多機能ここえ・交流・保護者）・芋掘り・ハロウィン・どれみ祭り（保護者参加）秋祭り（発達支援ルーム・てとて・交流）起震車体験（多機能ここえ・交流）
5 月	夏野菜植え	11 月	内科検診・歯科検診
6 月	内科検診・歯科検診	12 月	クリスマス発表会（保護者・多機能ここえ交流）いだいグループホーム
7 月	保育参観（保護者・懇談会）・プール開き 夕涼み会	1 月	お正月遊び
8 月		2 月	節分
9 月	敬老の会（多機能ここえ・いだいグループホームとの交流）	3 月	ひなまつり・卒園式・修了式・お別れ遠足（親子遠）・他園との交流（夢じゃき園）

* 毎月行事…お誕生会・給食試食会・避難訓練・交通安全指導・食育・リトミック（1.2歳児のみ）・

○もりもりキッズ

月	内容	月	内容
4 月	進級式・お花見	10 月	運動会・芋掘り・園外保育・ハロウィン
5 月	じゃがいも掘り・夏野菜植え・保育参加	11 月	内科検診・歯科検診・芋パーティー
6 月	内科検診・歯科検診・さつま芋の苗植え	12 月	クリスマス・餅つき・お店屋さんごっこ
7 月	七夕・プール開き・夕涼み会	1 月	鏡開き・じゃがいも植え
8 月		2 月	節分・生活発表会
9 月	敬老の日・お月見	3 月	ひなまつり・お別れ会・お別れ遠足・卒園式・修了式

* 毎月行事…ハッピーデー・避難訓練・交通安全指導・食育・お誕生会

(2) 危機管理

○うちみや保育園

時期(月日)	内容	参加者
毎月	避難訓練(火災・地震・消火等) 交通安全指導・遊具点検	園児・職員
年2回	不審者訓練	園児・職員
11/17	松山交通安全協会 交通安全指導	園児・職員

○どれみ保育園

時期(月日)	内容	参加者
毎月	避難訓練(火災・地震・消火等) 交通安全指導・遊具点検	園児・職員
年2回	不審者訓練	園児・職員
年1回	東鷹ノ子自治会との防災訓練	職員・消防署職員・東鷹ノ子団地住民

○もりもりキッズ

時期(月日)	内容	参加者
毎月	避難訓練(火災・地震・消火等) 交通安全指導・遊具点検	園児・職員
年2回	不審者訓練	園児・職員
年1回	苞木地区防災訓練	職員・地域の方

(3) 地域交流

○うちみや保育園

時期(月日)	内容	参加者
8月	すいか風鈴(風早の家)プレゼント (優寿の里) (セントケア松山) 暑中見舞い(グループホームいだい) セントケア松山 夏祭り参加	園児・職員
9月	敬老の日プレゼント(風早の家)	園児・職員
12月	正月飾りプレゼント 小規模多機能ホームつむぎ セントケア松山 アガタ歯科・白形医院・消防城北支所	園児・職員
2月	ひな人形プレゼント 小規模多機能ホームつむぎ	園児・職員

園児と職員で制作した物を季節に合わせて施設や近隣の家庭にプレゼントした。

積極的に交流することができ訪問先の方々に喜んでいただけた。

○どれみ保育園

時期（月日）	内容	参加者
11 月	東鷹ノ子自治会自主防災組織との 合同消防訓練	東鷹ノ子自治会自主防災組織の役員・団地住 民 保育園職員・消防署職員（園より1名参加）
9 月・10 月・ 12 月	「ここえ」「いだいグループホーム」 との交流 敬老会・運動会・クリス マス発表会	高齢者・園児・職員

○もりもりキッズ

時期（月日）	内容	参加者
4 月 28 日	苞木地区清掃	法人職員・地域の人々
9 月 22 日	苞木地区清掃（雨天中止）	
10 月 27 日 10 月 20 日	運動会 法人秋祭り	園児・職員・利用者（かなさんどう） 園児・保護者・利用者（かなさんどう・風早 の家）・家族等
10 月 30 日	ハロウィン（かなさんどう・風早の 家）	園児・職員・利用者（かなさんどう・風早の 家）
12 月 18 日	お店屋さんごっこ	園児・職員・利用者（風早の家）
12 月 19 日	お店屋さんごっこ	園児・職員・利用者（かなさんどう）
12 月 27 日	お餅つき大会	園児・職員・利用者
1 月 30 日	生活発表会	園児・職員・利用者（風早の家）

（4）ボランティア

河原学園こども未来科の1年生2名、（うちみや保育園）（12月・3月）

（5）実習生・職場体験

内宮中学校2年生 職場体験実習 計4名（9月）（うちみや保育園）

6. ヒヤリハットについて

○うちみや保育園

①	危険行為（転倒の危険性）	19 件
②	設備不良	12 件
③	かみつき・ひっかき	4 件
④	その他（人的環境等）	16 件
合計		51 件

○どれみ保育園

①	危険行為（転倒の危険性）	7 件
②	設備不良	5 件
③	かみつき・ひっかき	7 件
④	その他（人的環境等）	6 件
合計		25 件

○もりもりキッズ

①	危険行為(転倒の危険性)	7件
②	設備不良	0件
③	かみつき・ひっかき	2件
④	その他	3件
合計		12件

- * ヒヤリハットの意味を理解し、日常生活の中で気に掛けることにより、大きな事故を防ぐ意識を養う。
- * 同じヒヤリハットが、月に何回も重なっているため、改善意識行動を高め、大きな事故に繋がらないようにする。(職員が共有して改善に努める。)

7. 事故報告について

○うちみや保育園

①	転倒・打撲	7件
②	かみつき	1件
③	引っかき・擦り傷・挟み傷等	2件
④	誤飲・誤食	0件
合計		10件

○どれみ保育園

①	転倒・打撲	2件
②	かみつき	8件
③	引っかき・擦り傷・挟み傷等	1件
④	誤飲・誤食	0件
合計		11件

○もりもりキッズ

①	転倒・打撲	7件
②	かみつき	8件
③	引っかき・擦り傷	0件
④	誤飲・誤食	0件
合計		15件

8. 苦情報告について

なし

以上